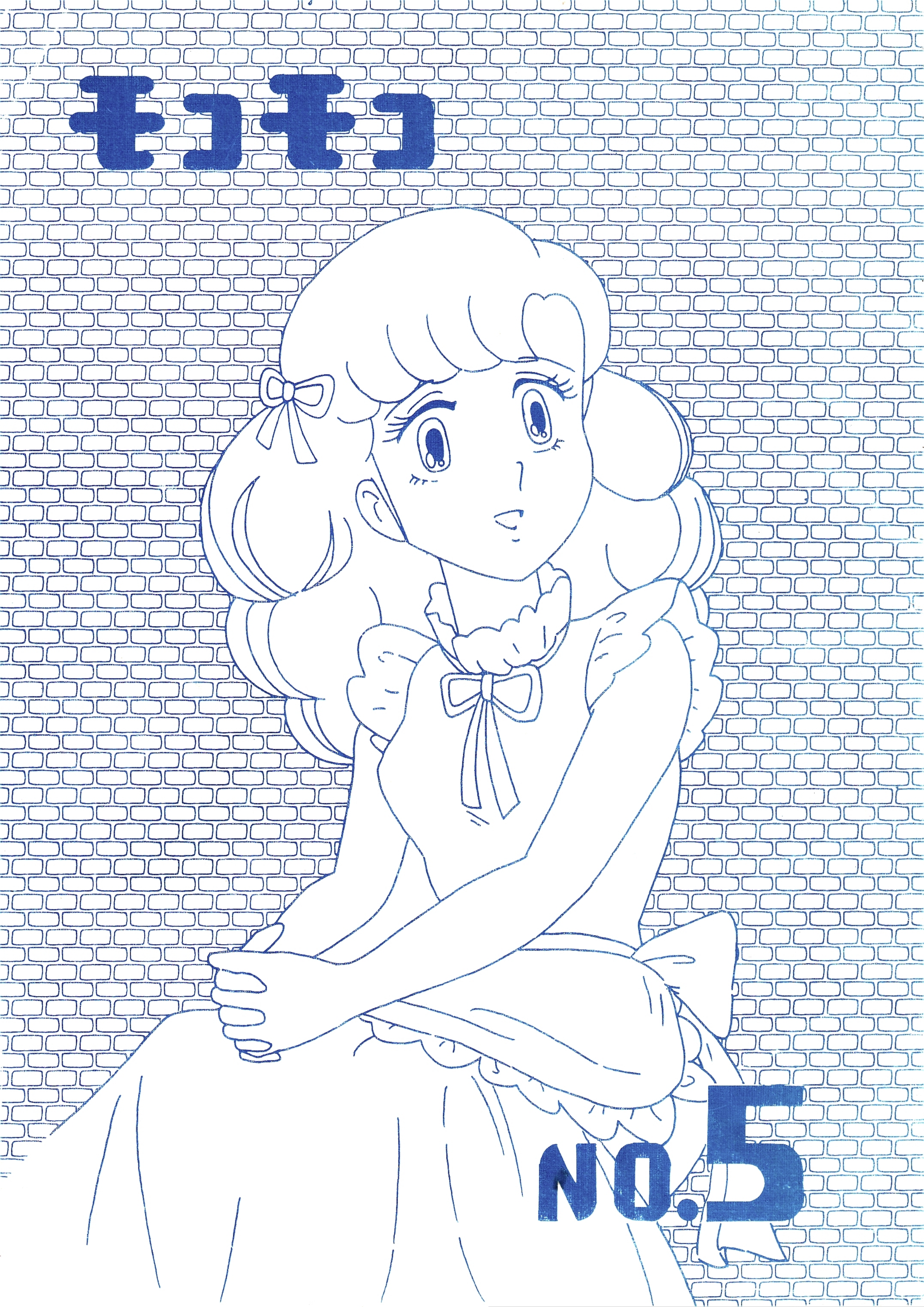
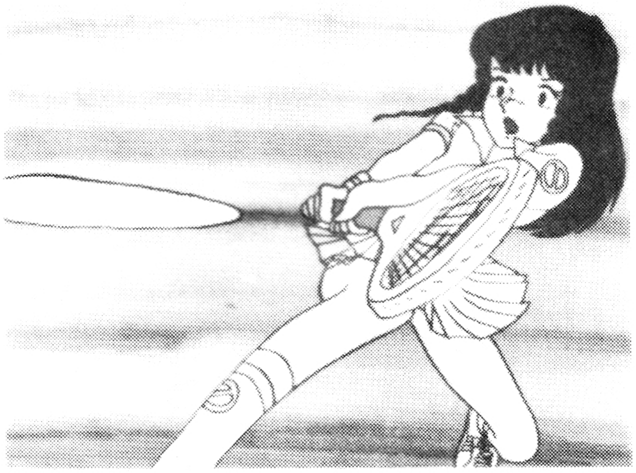

モコモコ
NO.5


超時空要塞
マクロス
MACROSS

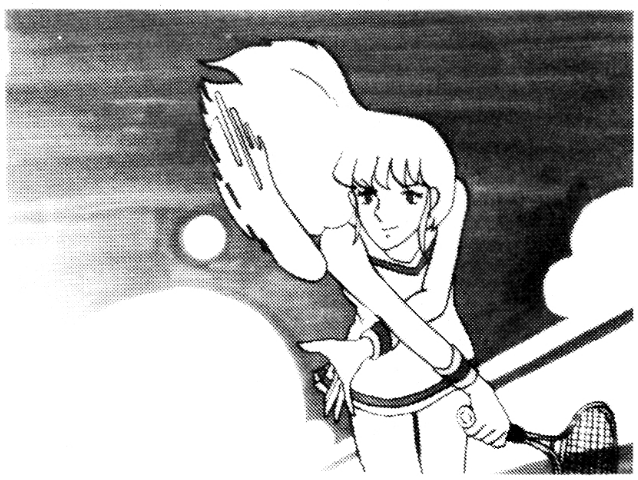
テニスに復帰したミンメイに立ちふさがるライバルたち。
今、東京大会は世界大会をもしのぐ熱気につつまれていた……



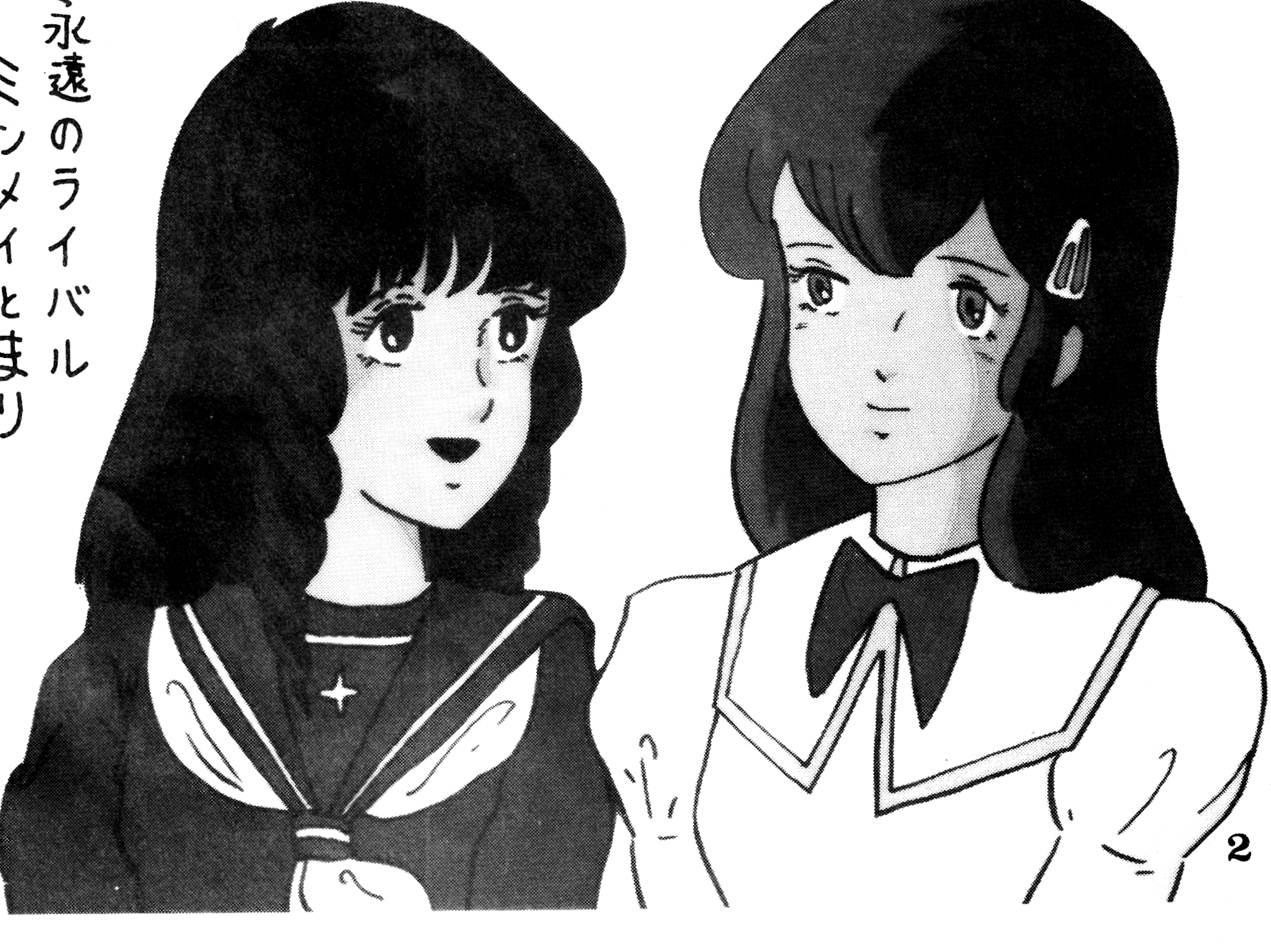
ミンメイのチャイニーズタイフーン



まりのテリブルアロー

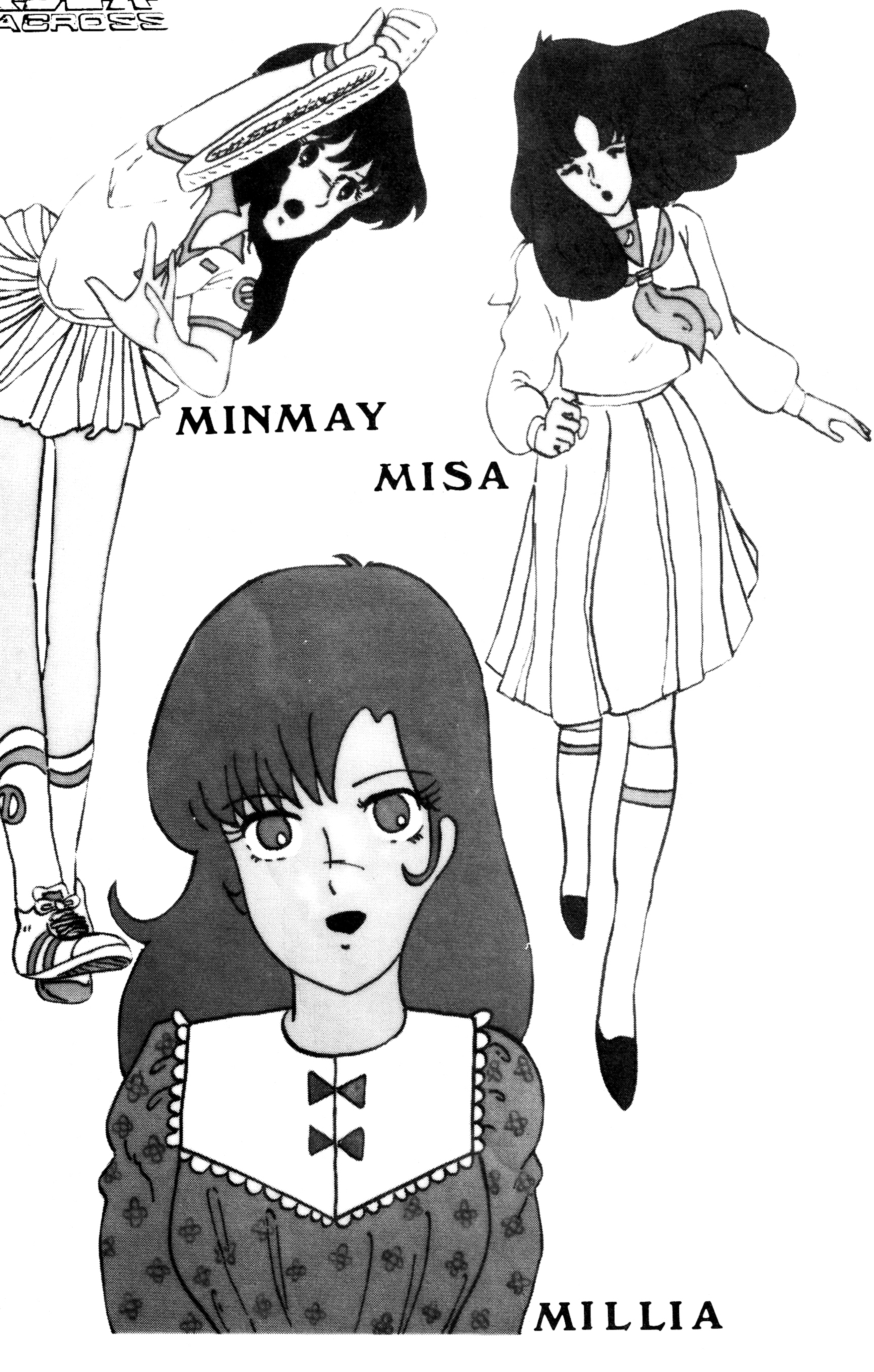


苑子のラムジェットクェーサー



永遠のライバル
ミンメイとまり

超時空要塞マクロス
MACROSS



原画 美樹本伸

1 ブービー・トラップ

西暦1999年、巨大な宇宙船が地球に落下した。人類は異星人の存在を衝撃的な形で知らされたのである。統合政府を樹立した人類は、この宇宙船を修復し、10年後の今日、進宙式を迎えることとなった。

しかしこの時、同軌道上にゼントラーディ軍の艦隊がデフォールドしてきた。太陽系から10光年の所を行動中に、監察軍の宇宙艦（実はマクロス）を確認したからだ。

ところが、マクロスが勝手に動き始めた。そしてマクロスの主砲は、ブリタイ艦長をとらえた。

マクロス、それは撤退中の監察軍がしかけていった、ブービー・トラップだったのだ。

2 カウント・ダウン

マクロスは重力制御システムを使って発進しようとするが、なんとシステムだけが甲板をつき破り、飛んでいってしまった。

一方、ブリタイ司令は伝説の反応兵器を使用する人類に、驚きを隠せなかった。

そのころパイロット候補生の一条輝は、なぜか乗ることになってしまった新鋭戦闘機バルキリーを使って、中華料理店の女の子リン・ミンメイを助けることになった。

降下してくるゼントラーディ軍の戦闘に巻き込まれた輝が見たものは、人間の数倍もある異星人の姿であった。

3 スペース・フォールド

島に着陸すると見せかけてフォールドシステムを作動させたマクロスは、当初の目標であった月の裏側などではなく、冥王星軌道上にデフォールドしてしまっていた。

そしてフォールド効果によって島までも持ってきてしまったのだ。

また、輝とミンメイのエアレーサーも同じく宇宙空間に放り出されていた。やっとのことでマクロスの破損部から艦内にもぐり込んだのだが、そこは……。

そして消失したマクロスのフォールドシステムは……。

4 リン・ミンメイ

九死に一生を得た輝とミンメイだったが、二人の飛び込んだ所はマクロスの閉鎖区画であった。

食糧を得るため宇宙に冷凍マグロを取りに行った輝だが、お頭を手に入れただけであった。

食糧が尽き、最期がおとずれようとしたとき、天の助けかミサイルが落ちてきた。ゼントラーディの不発弾だ。穴からはい出した二人が見たものは島のシェルターから移ってきた町の人々と、宇宙空間から拾い集めた物資で作りあげた街並であった。

それは島がマクロスの中に移動したかのようであった。

5 トランス・フォーメーション

マクロスを追ってデフォールドしてきたゼントラーディ艦隊が攻撃をしかけてきた。

エネルギー伝導管の切断により主砲を打てないマクロスは艦体を変形させるトランスフォーメーションを行うことによって主砲を発射、これを撃破することに成功した。

しかし、トランスフォーメーションによって艦内の町は大混乱に陥ってしまった。地割れからミンメイを助けた輝は、なぜか入隊を決意するのだった。

6 ダイダロス・アタック

主砲が故障をおこしまたしても危機に陥ったマクロスは、ゼントラーディ軍の攻撃をフォールドシステムの消失した後に発見されたエネルギーを局部防衛システム——ピン・ポイント・バリア（PPV）として利用し必死で防いでいたが、撃沈は時間の問題であった。

しかし肉迫攻撃をしかけて来た戦艦に対し、右腕ともいうべき強襲揚陸艦ダイダロスにPPVを集中させ、搭載しているデストロイドの一斉射撃で撃破するという奇策ダイダロスアタックにより、敵を退けることに成功したのであった。

7 バイバイ・マルス

閉鎖されたはずの火星サラ基地からの電波を受信したマクロスは物資補給もかねて火星に着陸する。そこは未沙のあこがれの人ライバーがいる土地であった。

だがすべてはゼントラーディのワナ。基地に調査に来ていた未沙はマクロスを重力機雷から脱出させるため反応炉を暴走させた。輝は未沙を無理矢理救出する。

8 ロンゲスト・バースデー

二〇〇九年十月十日ーミンメイの誕生日である。一方輝は前回の活躍により少尉に昇進、二人の部下も与えられた。バースデーパーティでプレゼントを忘れた輝はあせるがその時ゼントラーディの攻撃がはじまり出撃、カムジンの攻撃であった。しかし輝は結局プレゼントを買いそびれ、その日もらったばかりのチタニウム勲章をミンメイに渡すのだった。

9 ミス・マクロス

マクロス艦内放送が開始された。TV電波をキャッチしたゼントラーディは興味を持ち強行偵察艇を発進させる。折も折、開局記念の〝ミス・マクロス・コンテスト〟が放送されていた。モニターでコンテストを見ながらパトロール中の輝はこれと遭遇、交戦する。
ミス・マクロスーそれはリン〃ミンメイであった。

10 ブラインド・ゲーム

マクロスはゼントラディによる通信妨害が解除されたため地球と連絡をとっていた。ところがその数分後、ゼントラーディから降伏勧告が送られてきたのである。同時に加えられた威嚇射撃によりマクロスはレーダーが使用不能となる。
このため未沙は輝を護衛にパトロール機で出動する。そして待ちかまえていたゼントラーディ軍の攻撃を受け未沙の機は捕えられてしまう。輝たちは敵艦に侵入、一度は未沙を救出するも、ブリタイの根性の前に敗れさるのであった。

11 ファースト・コンタクト

ミンメイは輝の戦死の報を聞き、打ちひしがれるが、その悲しみをみごと乗り越え歌手としてデビューを果たすのだった。
一方、ゼントラーディ軍に捕われていた輝たち4人は、基幹艦隊につれていかれることになった。
そこで、輝たちは宇宙空間を埋めつくす巨大な艦隊を目撃するのであった。
そして、司令長官ボドルザーたちの前で尋問を受けることになったのである。

12 ビッグ・エスケープ

マイクローンとは、ゼントラーディ軍と監察軍という2つの勢力を産み出した銀河帝国が存在したころの人々のように巨大ではなし種族のことであり、彼らがすでに失ってしまったかつての文化をプロトカルチャーと呼んで恐れにも似た感情を持っていたのだった。マイクローンの星に手を出した艦隊は戦意を喪失して壊滅すると言い伝えられてきたのだ。
ところが、彼らは今、輝と未沙のキスというまさにプロトカルチャーを目のあたりにし、恐れおののくのであった。
マックスの活躍によって脱走に成功した輝たちは、運よく太陽系行きの艦に潜入し、戦闘のドサクサにまぎれて戦闘ポッドで脱出したのだ。そして、彼らはスピーカーから流れるミンメイのデビュー曲を聞くのだった。

13 ブルー・ウインド

もう地球は目の前であった。マイクローンを探るためにマクロスに潜入したゼントラーディの兵士たち「青い風」は、はやくもロッカーを壊すわ女装はするわで大混乱をきたしていた。
そのころ、敵軍より脱出してきた輝たちのために歓迎レセプションが開かれていた。そしてその席で輝は、歌手リン・ミンメイと再会するのであった。
一方攻撃を手控えろとのラプラミズ新司令の命令を黙視したカムジンは、マクロスに仕掛けてきたが、マクロスは主砲を発射してこれに応じた。
この戦闘で一番驚いたのは「青い風」だった。マイクローンの統制のとれた退避に感心する間もなく艦内が変形をはじめたのだ……。

14 グローバル・レポート

やっとの思いでマクロスは地球にたどりついた。人々は束の間の安らぎを得たのだ。
グローバル艦長は、これまでのマクロスの驚くべき体験をレポートするのだった。

15 チャイナ・タウン

グローバル艦長と未沙は、ゼントラーディ軍に関するデータを持ち、アラスカの統合軍本部へと向かっていた。
それは未沙の父である早瀬提督との再会を意味していた。
そのころミンメイは、輝の操縦で両親のいる横浜へ向かっていた。

そして、行方不明となっていた従兄のカイフンとの出会いが待っていた。一方マクロスには地球製のフォールドシステムが取りつけられることになったのである。

⑯ トーキョー・エクスプレス

統合軍本部の甘い判断によって危機に立たされたマクロスの内部では、民間人たちの不満が高まっていた。マクロスに潜入したカイフンは、この機を捕え混乱に乗じてブリッジを占領した。

この時ゼントラーディ軍の問題児カムジンは独断で攻撃を仕掛けてきた。この攻撃を統合軍のものと勘違いしたカイフンは、戦場からの脱出のためフォールドを命令した。目的地はなんと東京。フォールド航法の説明をしようとする艦長を気絶させたカイフンは、フォールドシステムのスイッチを押した。

⑰ ビッグ・ミステイク

フォールドしてきたマクロスによって東京のあった場所には巨大なクレーターが出現していた。

しかし東京はマクロスと入れ替ってはしなかった。なんとマクロス艦内に現れたのである。

外部から見ると灰色の球体で侵入は不可能だったが、次元断層的な入口はマクロスのあちこちに存在していた。

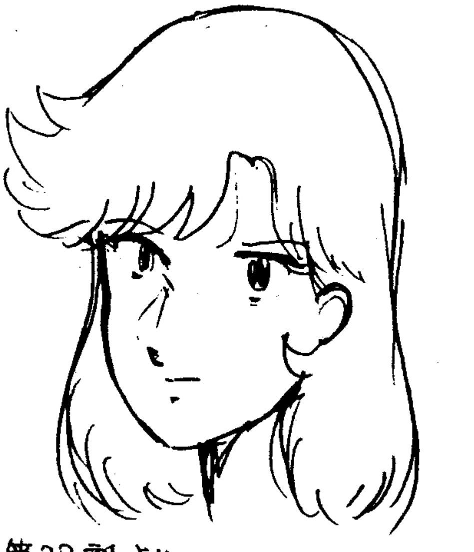
しかも驚くべきことにミンメイたちの町が皇居跡に移ってしまっていた。大きさからいって、マクロス内に東京が存在する筈はないのだが、これは事実であった。

グローバル艦長はこれを利用しようと考えていた。

つまり異星人の攻撃によって東京に戒厳令が出された、と発表したのである。

これにはマクロス門前町の人々が一役かってくれた。まさか、まだマクロスの中にいるとは思いもよらないことだったのだ。

ただ、東京内のあちこちに、マクロス行きと称する奇妙な駅が建てられたのだった。



第22話より
昨年度世界大会チャンピオン
山尾苑子

⑱ フォールド・オプション

東京の壊滅をマクロスの反逆とみなした統合軍の攻撃によって2つの勢力を敵にまわすことになったマクロスは、地球圏から離脱を迫られることになった。

その時またしてもカイフンが東京のゲリラたちを引きつれブリッジに現れた。

ゲリラたちは勝手に装置を操作し、マクロスを予備のフォールドシステムを使ってフォールドさせてしまう。



⑲ マイティ・ガール

太陽系近傍の宇宙空間にフォールドしたマクロスを追って、ゼントラーディ艦隊も次々とデフォールドしてきた。

しかし、近接探査を行って得た報告はマクロス内に探査不能の空間が存在することを示していた。

一方マクロス内では、ゲリラは撃退され、ミンメイは都内の高校に移ることになった。

艦内の混乱によって、歌手を一時休業したミンメイは、テニス部に入部した。

そして、コーチの筒井に見出され、全国大会地区予選の出場をかけて、キャプテンで昨年度2位の中島かおると試合をすることになった。

⑳ ファースト・サービス

フォールド後に行われた艦内検査によって、マクロスがわずかながら大きくなっていることがわかった。

これは早瀬大尉が、自分の椅子が少し

むきになっていることに気がついたからであった。
そのころ東京では、高校テニス地区大会が始まろうとしていた。
ミンメイは、着々と勝ち進み、準決勝でかつてのライバル新井まりと対決することになった。

21 リメンバー・ユー

ミンメイの祖父林石隆は、彼女を大自然の中でオールラウンドなテニスプレーヤーとして育てようとしたのだった。
そんなある日、近くのテニスクラブに来ていた新井まりとの衝撃的な出会いを果たしたのである。時にミンメイ5才の春であった。
まりの規格化されたテニスは到底ミンメイの敵ではなく、試合はミンメイの圧勝に終わった。



→ミンメイの正確なロビングはまさに巧妙そのものであった。

しかし、この時まりの勝負に対する執念を見たミンメイは、テニスというスポーツに違和感を感じはじめるのであった。
それから10年後の東京で、2人は再び会見えることになったのである。

22 テニス・クイーン

ミンメイとまりの試合は、まさにウイニングショットの応酬であった。
しかし、まりの必殺ショット「テリブル・アロー」は自らの肉体をも痛めつける両刃の剣であった。これを多用したまりは、ドクターストップにより敗北した。
まりを病院に見送ったミンメイが、もどった会場で見たものは、昨年度世界大会優勝を成し遂げたスーパープレーヤー山尾苑子の華麗なる姿であった。
それはまさしくテニスの女王と呼ぶにふさわしいものであった。

23 テイク・アドバンテージ

廊下でミンメイたちとすれちがった苑子は、筒井コーチを見て驚いた様子だった。
試合は一セットを簡単にとられたミンメイが、その後もりかえし攻撃に転じた。
そして、ミンメイの「チャイニーズ・タイフーン」は間一髪で苑子の「スパイラル・スタンピード」を打ち砕き、第2セットをものにした。
第3セット、苑子は世界大会用に編みだしたスーパーショット「ラムジェット・クエイサー」を繰り出し、ミンメイのディフェンスを翻弄した。
しかし、ミンメイのねばりは苑子のウイニングショットのスキをつき、最終ゲームをジュースにまでもちこんだ。
二人の戦いはジュースを繰り返し、そして苑子がチャンスをものにした。アドバンテージ！
ミンメイの最後のショットがラインをわり、苑子の優勝が決定した。
だが、廊下で再びミンメイたちと出会った苑子は、筒井コーチに涙を見せた。
「もっと練習します……」
筒井コーチは苑子の育ての親であり、苑子の成長を見届けた後ミンメイの高校へ移ったのだった。
ミンメイはこの時無性に歌が唄いたかった。

24 ニュー・ヒロイン

マクロスでは序々にその秘密が明らかにされていった。
ゼントラーディ軍や監察軍の宇宙船はもともと地球のものと同じような大きさだったのだ。
しかし、フォールドを繰り返すうちに艦は次第に巨大化する船に合わせて自らを巨人に変化させていったのだった。
一方、東京では混乱は次第におさまり軍によって統合された各放送局も送信を開始しようとしていた。
各芸能プロダクションは、この新しい放送体制に乗じるべく新人の発掘に力を入れていた。
そんな時、原宿を歩いていた少女がスタープロにスカウトされた。その名は、四条ミリアといった。



25 グリーン・レクイエム

新番組「クリスタルの仮面」のヒロイン役のオーディションが開かれていた。すでに、ミンメイに決っていたので、これは宣伝を兼ねてのものだった。

しかし、この会場にはスタープロの新人ミリアがいた。あたりまえのことだが、全くの世間知らずの彼女の新鮮な演技は、審査員の良心を呼び起こすに十分だったのである。「青い風」の3人とのイザコザで歌謡番組に穴をあけてしまったミンメイを待っていたものは、彼女の代役としてはなばなしくデビューしたミリアの姿であった。それはまさに、ミンメイを凌ぐ超清純派スターの誕生であった。

26 ランチ・タイム

失意のうちに家に帰ったミンメイを待っていたものは、「娘々」倒産の危機であった。

歌手への道を断念したミンメイは「青い風」の三人組を加えて新しく中華仕出し弁当屋を始めることになった。

一方、ゼントラーディ軍の攻撃がピタリと止んだために一種の休戦状態となりやっと休暇をとれた輝は、ミンメイのもとを訪れるが、うっかりミンメイにマクロスの秘密を喋ってしまう。

27 エコノミック・スペース

マクロス艦内にマーケットを拡大した「娘々」は、資金獲得のための一大作戦を開始した。

それは「青い風」の提案による、ゼントラーディ軍向けの仕出し弁当を作ろうというものであった。

なんとゼントラーディ軍は、国際銀行マクロス島支点のお金を資料として保管していたのである。そして、「青い風」はプロトカルチャーの資料として弁当をゼントラーディ軍に持ち込み、兵士たちに好評をもって迎えられたのだ。

「娘々」は宇宙空間にまでマーケットを拡げた最初の仕出し弁当屋になったのである。

しかし、ラプラミズ司令はこれをマイクローンの宇宙進出ではなく侵略とみなし、幕の内弁当を食しつつ対策を練るのだった。

28 コスミック・エンカウンター

ゼントラーディ軍とマクロスの間に一種の停戦条約のようなものが結ばれ、非常勤となった輝たちバーミリオン小隊は東京のアパートに住むことになった。

しかし、輝の隣の部屋には「青い風」のかわりにスパイとして潜入したカムジンが住んでいた。

カムジンはこれを幸いと壁に穴を開け観察を開始した。

ノイローゼになる輝。

一方、「娘々」が軌道に乗り、おじが東京に持っているアパートの管理人として「緑一荘」を訪れたミンメイは、引越し荷物を背負った輝と出会うのだった。

29 バースデイ・パーティ

学校へ通いつつ、アパートの管理人として生活をおくるミンメイに、17才の誕生日がやってきた。

ところが輝は、カムジンの部屋に隠していた「オレンジピープル」をミンメイに見つかってしまい、嫌われてしまう。

そして、パーティで酒を飲み、酔っぱらった輝は、表に飛び出し大声で叫んでしまう。

「自分は、ミンメイが好きであります」

30 オクトパス・ルーム

学校でアニメ研に入っているミンメイは、学園祭が迫って大忙し。

そこで「緑一荘」の住人も手伝うことになったのだが、彩色はそんなに甘いものではなかったのである。

彼らの精神的肉体的犠牲によって自主

アニメ「ユキちゃんと宇宙くじら」は完成し、大成功をおさめたのである。
一方、着々とトップアイドルへの道を進むミリアは、マイクローン世界におけるマスコミの影響の大きさを、ラプラミズ司令のもとに報告するのであった。

㉛ キャンパス・クライシス

謹慎処分を受けていたブリタイが、秘策を秘めて太陽系に戻って来た。彼はマイクローンの内乱に目をつけていたのだ。
一方、ミンメイたちの学校に、ひとりの少女美亜が転校して来た。彼女は転校早々生徒会長に立候補し、みごと当選してしまった。
しかし、厳しい規則を強制する生徒会に生徒の反発が高まった。そして、美亜を支持する生徒たちが全員同じ進学塾に通っていることをつきとめたミンメイは輝と共にこの塾に忍び込んだ。
彼らがそこで見たものは、生徒たちを洗脳するブリタイの姿だった。
しかし、受験戦争という内乱を利用しようとしたブリタイの野望は、ミンメイと輝のプロトカルチャー攻撃によって打ち砕かれたのであった。
ミンメイは輝に「これは学園を守るためにやったのよ」と念を押すのだが、輝にとってこの日は記念に残る一日となったのである。

㉜ ソルジャー・レディ

東京市民はもちろんのこと、グローバル艦長でさえ知らなかったことだが、東京の地下数キロの所にあった統合軍極東方面軍司令部もまた、マクロス内にフォールドしてきていた。
早瀬提督を司令官とする彼らは、都内におけるゼントラーディ軍のスパイ活動の活発化に注目していた。
そこでこれを阻止するため、マクロスのオペレーター早瀬大尉を秘密に呼び出したのである。
彼らは未沙に、要注意人物ミリアの名をあげ、彼女の通う学校に転校生として入りこんで証拠をつかんで欲しいと頼むのだった。
そして彼女には、統合軍一級諜報官の証明であるコンパクトと、強力な武器としても使えるポシェットが渡された。
転校早々、スケバングループの出迎えを受ける未沙だが、逆に彼女たちを子分にしてしまったのである。



監察軍 宇宙船「ヘペコモッコス II」



㉝ ラフィング・ポリス

番長たちを手なずけミリアに近付く未沙だが、ゼントラーディ軍の強力な妨害を受ける。
そのころミリアは最終計画のための実験をこの学園で行おうとしていた。
これを阻止しようとする未沙の前に現れたのは、ゼントラーディ軍と手を結んだカイフンたちである。
ライバーの面影を持つカイフンに遅れを取り追いつめられた未沙を救ったのは謎の警官であった。
一方、ミンメイは再び歌手への道を歩み始めるのだった。

㉞ サーベイ・サービス

未沙は謎の男の協力を得て、ミリアの計画を阻止することに成功したが、この男こそ、ゼントラーディ軍と敵対する監察軍から来た戦士だったのだ。

そして彼が未沙に聞かせた伝説から、この宇宙大戦の全貌が明かになって来たのである。

銀河帝国を滅亡させた革命軍とこれをおさえようとした警察組織との戦いが、その原因さえも忘れさられるほどの長きにわたって行われてきたのだった。

そのころミリアは着々と最終計画への最後の詰めにとりかかっていたのだった。

㉟ シーサイド・メモリー

ミンメイ5才の夏——恐しいまでに苛酷な勝負の世界に疲れ果てテニスから離れた彼女だったが、その心は沈んだままだった。暗い表情で毎日を送るミンメイに少しでも明るさを取戻させようと、おじ林石隆はミンメイを海に連れていった。

ミンメイはそこで、臨海学校に来ていた白薔薇幼稚園の美幼児タクと親しくなり、二人で波と戯れたりするうち、少しづつ笑みが戻ってきた。

ところが、タクとミンメイの仲を好ましく思わない、幼稚園でタクのGFを自認するエムは、ミンメイのビーチサンダルを隠したりの嫌がらせをした。さらにミンメイが、強い推薦を受けて気が乗らぬままに〝水着美少女コンテスト〟に出ることになり、予選でチャンピオン最右翼だったエムと会場の人気を二分すると他の有力候補からの風あたりも強くなった。ミンメイは、またしても闘いの中に身を投じてしまった自らの運命を呪う。

そしてコンテスト本選の前日、出場辞退をすべきか思い悩みつつレストランで夕食を摂っていた。

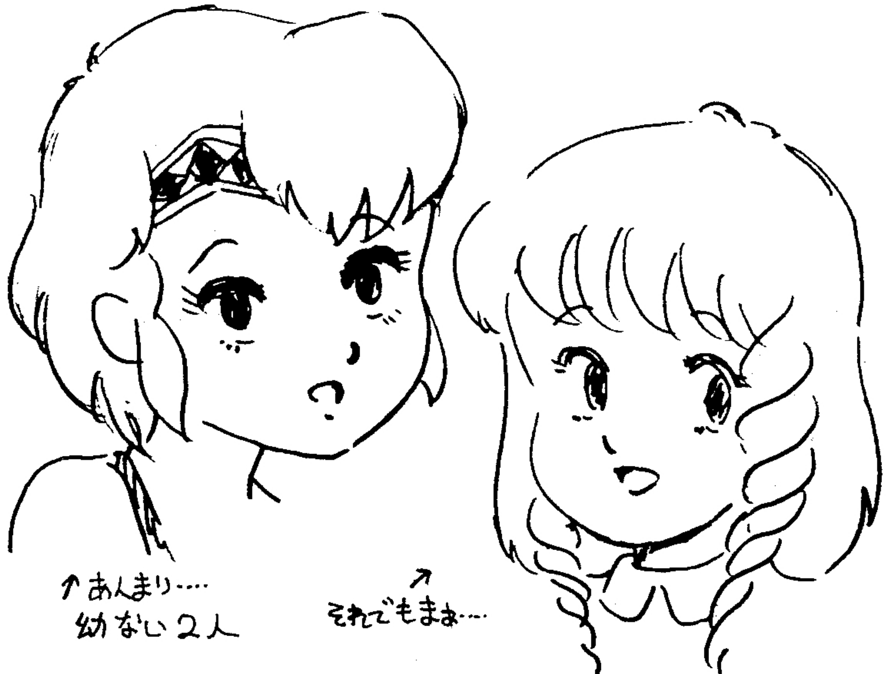
そのとき突然、平和主義者を名のる男が銃を持ってレストランを占拠した。男は金を要求し、たくさんの人質を擁する犯人に警察も手を出すことが出来なかったが、ミンメイは偶然レストランに居合わせたエムと協力して犯人を捕えた。

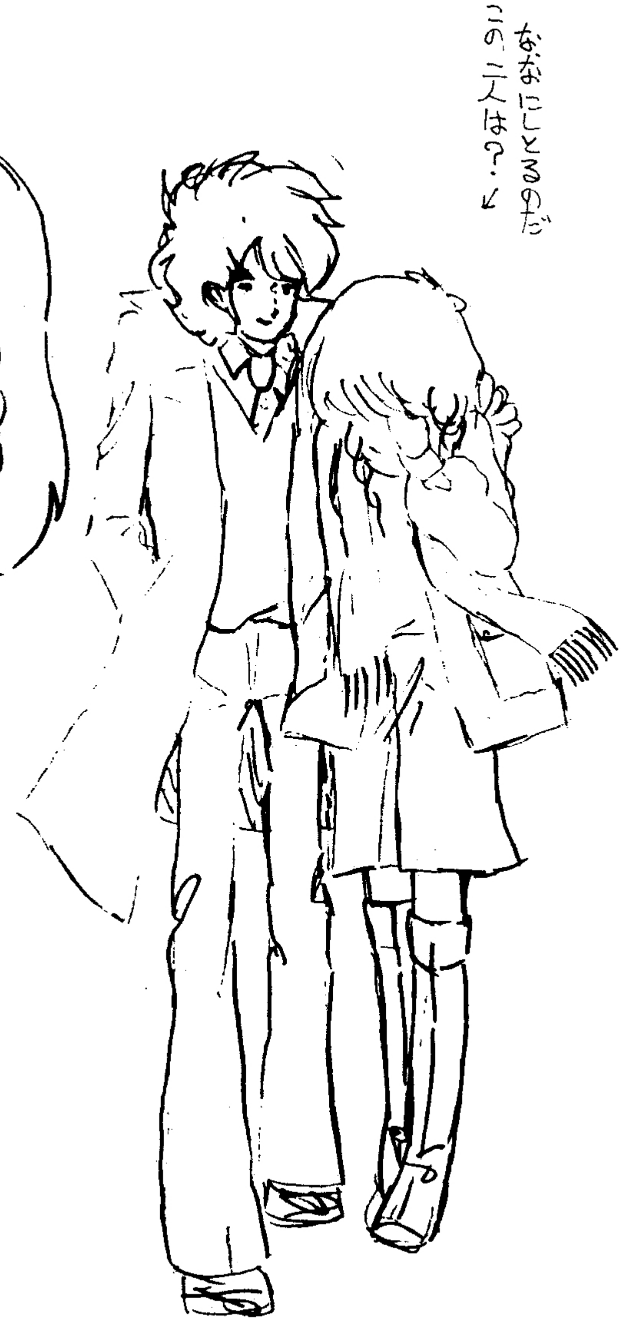
この騒ぎのためコンテストは中止になったが、エムとの共同作戦を通じて、ミンメイは勝負というものが単に敵を打ちまかすことを目的としたものではないことを、幼い胸で感じとったのだった。



統合軍一級諜報官 未沙

「おねえさんにまかせておきなさい！ わかった？」





36 ビーイング・ゼア

ゼントラーディの最終計画とは、放送電波を利用したマイクローン洗脳計画であった。その方法としてマイクローンに圧倒的な人気を誇る「紅白歌合戦」に目をつけたのである。

その第一段階として「紅白」への出場権を手にすることの出来る大河ドラマ「白雪天女」の主役をとらなければならない。だが、ミリアは次々と歌謡賞を獲得していった。

そんな冬のある日、ミンメイはこの生涯最大のライバルと採点カラオケ喫茶で出会ったのだが、ミンメイは点数で大差をつけられてしまった。

しかし、二人が散歩する公園で、子供たちの前でアニメソングを歌うと、子供たちの拍手はミンメイに集まったのである。

この時、ミリアは言いようのない不安を覚えるのだった。

37 リミテッド・ウォー

ついに決戦の日は来た。そして主役は歌・演技とも「白雪天女」を完璧に再現するミリアと独自の解釈でネコヤナギの精を演じるミンメイの2人に絞られたのだった。

こうして最後の決定は主題歌の歌唱審査に持ちこまれたが、ミリアの歌唱力は圧倒的である。しかし、日影監督はミンメイに軍配をあげたのだった。

ミンメイは見事なカムバックを果たしたのだった。詰め寄るミリアだが、日影は冷たく言い放つのだった。

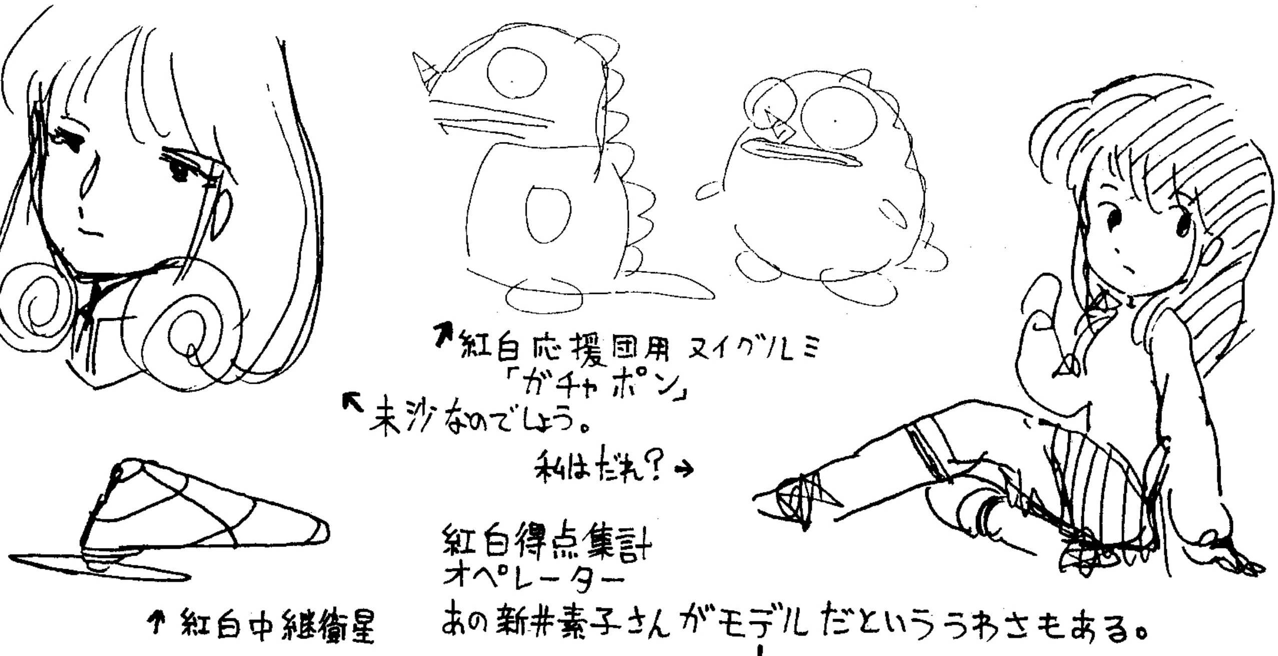
「あなたの歌には愛が、ない……」

38 オペレーション・マクロス

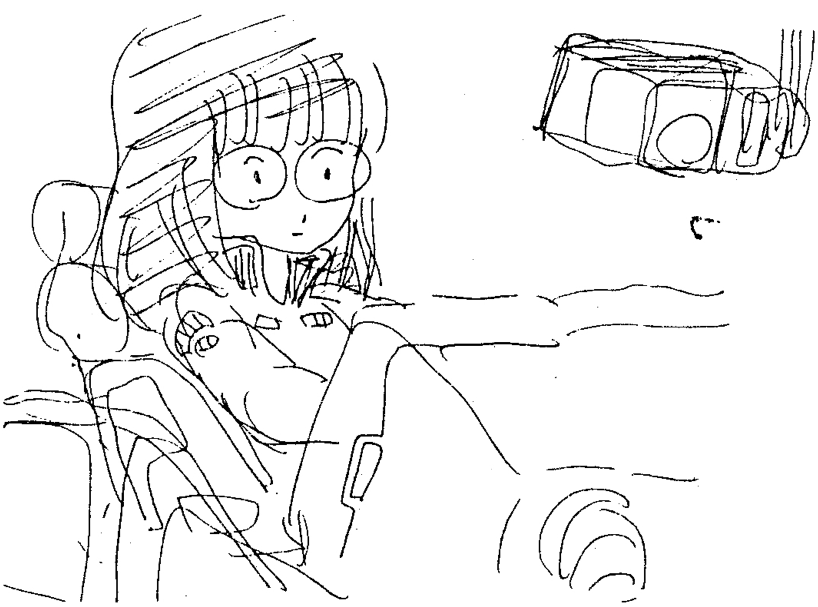
紅白歌合戦がおしせまる暮のある日、マクロスは内外とも異常に平和であった。しかし、この平和を偽りのものと見抜いた者もいた。姿をくらましたミリアを追う未沙と、「こんな時こそカイフンの野郎が悪事を働くんだ」と信じて疑わないフォッカーと(しかしこの時カイフンは突発性健忘症におそわれ、なぜかラプラミズの艦にいた。カイフンがゼントラーディでのし上がっていくのは後の話である)、隣のカムジンが急にカラオケにこりだして眠れぬ夜をすごす輝たち「緑一荘」の住人であった。

もっとも、こんな連中とはおかまいなしに銀河的な規模の限定戦争が始まろうとしていた。マクロス、いや東京にどこからともなく男や女の一団が現れ、そして消えていった。

一方、ミンメイは紅白を目指すのだった。



㊴ コスミック・フェスティバル



すべては夢なのかもしれない——しかしミンメイは、今このときに青春をかける。ミリアもまた、己のすべてをかけてミンメイに挑戦してくるだろう。

いくつもの青春群象が今、そのクライマックスを迎えようとしていた。この青春劇場の舞台、紅白歌合戦が始まろうとしている。

紅組を監察軍が、白組をゼントラーディ軍がのっとってしまったため、ここに一大限定戦争が開始されたのだった。

グローバル審査員をはじめスタッフはこの事態に驚いたが、市民の動揺を恐れそのまま紅白を続けることに決定した。

紅組には、パトロールの筈がなぜか舞台に上ることになったクローディアとフォッカー、急きょトリオを結成することになったオペレーター3人娘、ミリアを追っていて気がつくとスポットライトの中だったという未沙、女装の似合う監察軍刑事アランがいた。白組には特訓の成果をひっさげて登場のカムジンと、まさかカムジンが歌うとは思ってもみなかった輝、ミリアを思うエースのマックス、渋さでせまるブリタイおやじ、軟弱ロックでせまる青い風など。

そしてトリは新曲「桜貝」を歌うミンメイと、自作「おとなは知らない」を歌う男装のミリアとの対決となったのである。こうして紅白は最高のクライマックス、得点集計にはいった。そして……。

地球人には当然の結果であった。しかし、ゼントラーディ軍と監察軍にとってこの結果は全く認識の外にあった驚くべきものであった。そして、このことは数十万年の永きにわたって続く戦争の強力な解決方法を意味していたのである。

ミンメイが、輝が、未沙が、そしてミリアが笑っていた。誰もがベストを尽したのだ。勝負は引き分けだったが、悔いなどなかった。

ミンメイは語りかける。

「みなさんは、これからマクロスを離れ外へ出て行かれることでしょう。つらいことや苦しいこともあるでしょう。でもマクロスでの貴重な体験は必ずみなさんの心の支えとなる筈です……」

新しい時代の始まりであった。

〈FIN〉

監督インタビュー

あだち満氏に聞く

ミンメイの戦い

Q チーフディレクターが第16話「トーキョー・エクスプレス」で突然交代しましたが、そのへんの事情をくわしくお聞かせいただけませんか。

A いえ、まだあのときのことはちょっと……。心境的にも、立場的にも……。

（笑）

Q では、具体的に物語の世界についてお尋ねしていきたいと思います。最初の頃はスタジオぬえがかんでいることもあって、我々は本格ロマコメを期待していたのですが……。

A ええ、結局それは受けなかったんですね。それでまあスポンサーが出てきてあの事件が起き……、いやこれはやはり止めておきます。ともかく、ぼくはこの少々無理をしてでもストーリーの方針を変える必要があったわけですお気付きかと思いますが第18話まではミンメイを主人公にしたハードSF仕立て、そしてそれを転回点として後はSF色を強く押し出してみました。この変化にとまどった方も多いようですが、我々としては成功したと思っています。ミンメイに関していえば、それまでの松田聖子的なぶりっ子にぼくらは強い反発を覚えました。そこで、テニスというスポーツに彼女を参加させたわけです。スポーツというのは、一種の戦いですね。それまでミンメイは戦うことから逃げていて、輝にだけ戦争をさせていた。これじゃ、困るわけです。

Q というと？

A つまり、ぼくは松田聖子は嫌いなんです。ああいう娘に未来はない。未来というのは自分の手で勝ちとらにゃいかん。ぼくらはミンメイに自立して欲しかったんです。で、この戦うミンメイというイメージが後のミリアとの対決につながっていくのです。

愛を求める少女

Q ところでミンメイが歌手として、一度挫折しますね。

A ええ。「キャンディ・キャンディ」を見ればわかる通り、人間というものは挫折することによって成長するんです。そしてミンメイが求めるものは決して名誉ではないのだということをはっきりさせたかった。彼女は弁当屋で大金を稼いだりもしましたが、もちろん金を求めていたわけでもない。彼女が求めていたのは愛なんです。平和なんです。それも、全宇宙的な！

Q しかし、宇宙的といいながらなぜ下宿屋などやったんですか？

A わかりませんか？ たとえ全宇宙的愛であろうとも、それを支えるのは人間一人一人の小さな愛なんです。そういう庶民的な視点をおろそかにして地球だ、人類だというのはまったくナン

センスですね。そこで下宿というたいへん身近なシチュエーションを導入したんです。それに輝とミンメイの関係がどうもわやくちゃになってきたので一つ屋根の下で暮らさせてひきしめようと思ったわけです。それまでの歌手と軍人という関係ではどうしても不自然だと。

愛を歌うミンメイ

Q たしかに舞台こそ小さくなりましたが、表現されるテーマは逆に大きくなっていきましたね。

A そうです。ストーリー的にいえば下宿を終えることではじめて学園ドラマを登場させることが可能になったわけです。そして、とにかくミンメイにいろいろな職業を経験させたかった。職業については、男の子の憧れる女の子の職業をアンケートを元にして上位のものから選びました。

最初ミンメイっていうのは単なる幸運でもって歌手になりましたよね。あんなことが許される筈がないんです。ただなんとなく歌手になったような奴が近頃多すぎるんだよ。(拳でテーブルを殴りつける)だいたいね、松田聖子は富島健夫先生の青春像に合わないんだ。まったくブリッ子は嫌だね。ハマチッ子は、いいんだけど……。旧スタッフの連中は、どうせ「うる星やつら‥ONLY・YOU」を見なかったんだろう。

Q 富島健夫?

A 読んでみて下さい。で、とにかくミンメイに本当の歌手になって欲しかった。

アクション物としてのマクロス

Q この後しばらくミンメイは主役から降りますね。

A ま、ミンメイは一応基本的な性格を描ききったと考えまして、我々は次に未沙を使って学園ものに挑戦したわけです。富島作品に欠けているのはアクションだったと、そのアクション部分を徹底的に描くことでぼくは富島健夫を越えることが出来たと信じるんですがね。

Q そうですか……。ところで、あのあたりの未沙は異様に可愛かったですねスタッフは聞いたこともない人達でしたが……。

A いや、あれは実を言うとロリコン同人誌の連中を使ったんです。御存知でしょうが、アマチュアといってもそこら辺のプロに負けない画力の人間はいくらでもいる。○×プロなど問題になりませんね。ま、彼らに欠けているのはプロ根性でして、その点は数で補ったわけです。とにかくロリコンですからどう描いても年増にはならない。や、顔なんぞ似とらんでもいいんですわ、区別さえつきゃね。可愛いこと、それが大事です。(笑)で、正義の味方は身近にいるということが言いたかった・学校で隣の席に座っている娘がそうかもしれんと、視聴者に思わせたかったんです。

戦いの表裏を描きたかった

Q ここで初めて監察軍が登場しますね。ここで出て来たのはどうしてですか。

A ミリアですね。監察軍という大きな存在を受けとめるにはやはり彼女でないと。だから、彼女がクローズアップされる学園篇に監察軍が登場したわけです。で、そのミリアと未沙、そしてミンメイが対決するんですが、このとき未沙とミンメイの二人で戦いの表と裏というものを描いてみた。戦争というものは単に武力で勝てば終わりというものじゃない。敵の文化、精神を征服してこそ、真の勝利と言えるんです。未沙はもちろん武力ですね。そしてミンメイは精神的な面でミリアに戦いを挑んだんです。彼女の戦いは地味ですけれど、その決して小さくない。ミンメイに敗れたミリアはまさにカルチャーショックを受けるわけです。

あなただけに愛を

Q 決戦の前に全ての謎が明らかにされてしまいますね。なぜですか?

A オチで驚かせることが、ぼくらの目的ではなかった。たとえ謎がなくても皆さんを十分に納得させ、感動させるだけのクライマックスを作る自信がありました。愛ですよ、愛。愛こそ謎や秘密といったものを越えてこのドラマを支えたものなんです。

Q 愛を扱ったアニメーションというと例の「ヤ○ト」がありますが、あだちさんはあのシリーズについてどうお考えですか?

A ええ、「うる星やつら・オンリー・ユー」は面白かったですね。ランちゃんが可愛いんですよ。

Q ですから「ヤ○ト」のことを……。

A そう、「うる星やつら」のいい点は

一見観客に媚びているようで、実は作っている人間が一番楽しんでいる点だと思うんです。それにしても面堂が「暗いの怖いよぉ」やったのは嬉しかったですね。

Q あの、「ヤ○ト」について……。

（人間のものとは思われぬ絶叫、物の壊れる音などが聞こえる）

ライトSFへの挑戦状

Q そ、それではクライマックスになぜ紅白歌合戦を持って来られたのですか

A 君はそれでも日本人かね？ 日本人の一年は紅白で終わるんだよ。善きも悪しきものも、老いも若きもすべてがあの国民行事に集うんだ。マクロスの持つ全宇宙的な問題意識を展開する舞台としてあれ以上ふさわしいものはないと思う。

Q 近頃はやりのライトSFについてどう思われますか？

A 大嫌いです。SFはハード。ハードに限ります。ぼくはマクロスを、ライトSFに対する挑戦状のつもりで作ったのです。

破壊者としてのテレビジョン

Q ゼントラーディの洗脳放送というアイディアは面白かったですね。

A ええ、あれは実体験を基にしているんですよ。（下を向き、しばし沈黙）……あなた、「ションベン・ライダー」という映画を見ましたか？ あいつがぼくをこんな身体にしてしまったんです。（と言って車イスを叩く）

—註・御存知の方も多いと思うが、あだち氏は下半身不随である）

あの映画を見たばっかりに、私の身体は、私の身体は、うっうっ……。あんな怖るべき映画を野放しにして置いていいのか！ あれを見たばかりに精神を破壊された人間が何人いると思う!? キティフィルムの圧力で政府はひた隠しにしているが、あれは明白な犯罪だよ。「ションベン・ライダー」が公開された年の青少年の驚くべき精神的荒廃は決して日本脳炎なんかのせいじゃない。あの映画は、人間の身も心もむしばむ化物だ。ただ単につまらないんじゃない、攻撃して来るんだ我我を……。

ところがだよ、驚くじゃないか君。その「ションベン・ライダー」が今度TV放映されるというじゃないか。この計画は断固叩きつぶさなければならない。そう考えてぼくはマクロスを作ったといってもいい。マクロスの真のテーマはこの「ションベン・ライダー」の怖るべき陰謀を告発することにあったんだよ。

第二作を期待しています

Q それでは最後に、あだちさんが最も愛着を感じるマクロスの登場人物のお話しなど。

A そうですね、やはりリラムですね。彼女は特別扱いするべきかもしれませんが……。

Q はぁー。

A ランやしのぶも素晴しかったですね。あなた、「うる星やつら」見てないんですか？ 生きてて良かったという気になりますよ。あれは見るべきです。「うる星やつら」を見ずに「マクロス」を語るなかれですね。

Q 本日はお忙しいところをありがとうございました。読者の皆さんに最後になにか一言。

A 「うる星やつら：オンリー・ユー」は傑作です。

マクロスを見て

読者投稿

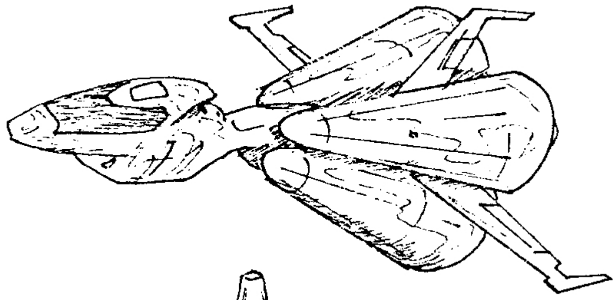
「超時空要塞マクロス」はSFである。全39話を見終った今、私は何のためらいもなく断言する。

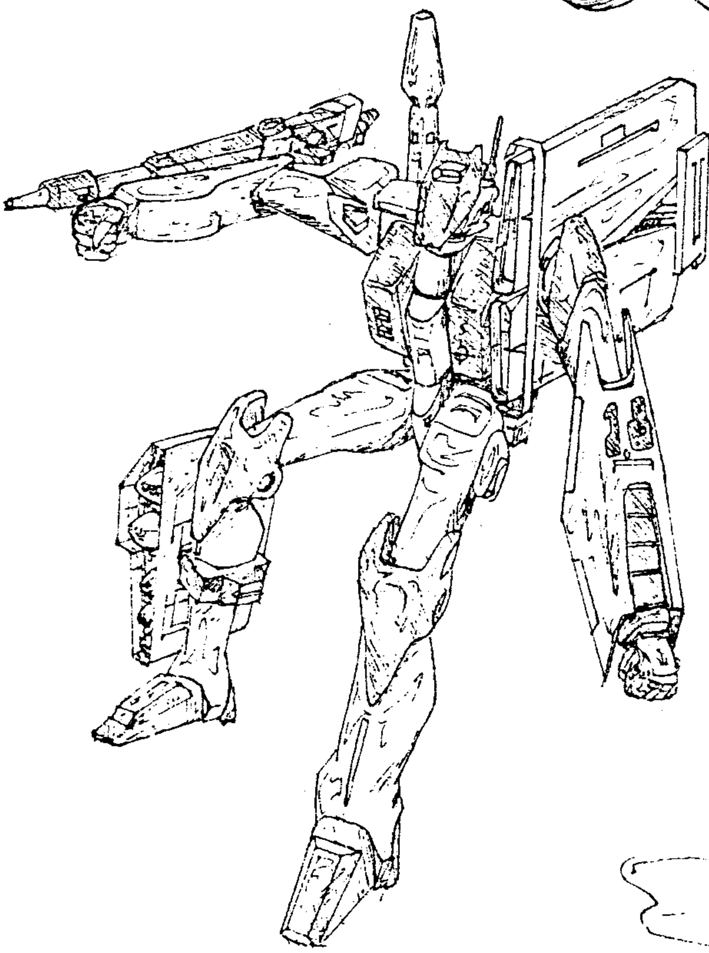
確かにシリーズ初期のSFに無理解なスタッフ、いやSFに対する敵意さえ感じられるスタッフによる作品には単なる戦闘アニメにすぎないものもある。しかし「マクロス」は物語が進むにつれそのSF的ボルテージをぐいぐいと上げて行ったのである。これは「すべてのスタッフをSF漬けにし、差し金入のSFファンにする」というあだち監督の努力が功を奏したといえるだろう。

SFとしての「マクロス」最大の特長はその豊富なアイデアにある。「テニス」「仕出し弁当」「青春」「学園」「学生刑事」「クリスタルの仮面」「管理人さん」「紅白歌合戦」等々。これらのSF的アイデアはどれをとってもそれだけでひとつの長編を作りうるほどの重さを持っている。それを「マクロス」は惜しげもなく使用し、あたかもいわゆるワイドスクリーンバロックの如き様相を示すのである。

それにしてもSF以外のアイデアが少少おそまつだったのが惜しまれる。

圏内シャトル
（フルスクラッチです）





グーリックの装甲兵士



グーリック・トヴ・ツナーハ
（ミクロマンを転用します）

長編人形アニメ OUT POST

by 五代暁

グーリック・トヴ・ツナーハ。
彼は装甲兵士の補充員である。辺境の星に送りこまれた。

★ ★ ★ ★

その年、星間戦争は二十七年目をむかえていた。長期の戦闘は、物量戦となってきていた。

辺境の無人の惑星の中には鉱山惑星としてすぐれたものが多々あったが、戦争中に開発は不可能と思われていた。巨額の開発費をつぎこんだ鉱山も、一体の装甲兵士の攻撃で無に帰してしまうからである。したがって、このような惑星では互いに敵の開発をゆるさないための最低の戦力を置いているのみだった。戦力はゼロでさえなければよいのだった。

グーリックは、そんな部隊の一人として投入されたのだ。

そこは、ベテランも新兵も区別なく一瞬の閃光とともに命を散らす宇宙空間の物量戦と違い、実力だけがものを言う少数の兵士同士の遭遇戦を繰返す戦場であった。

グーリックはここで友情を知り、尊敬を知り、憎しみを知った。

この物語は、彼の戦いの歴史である。

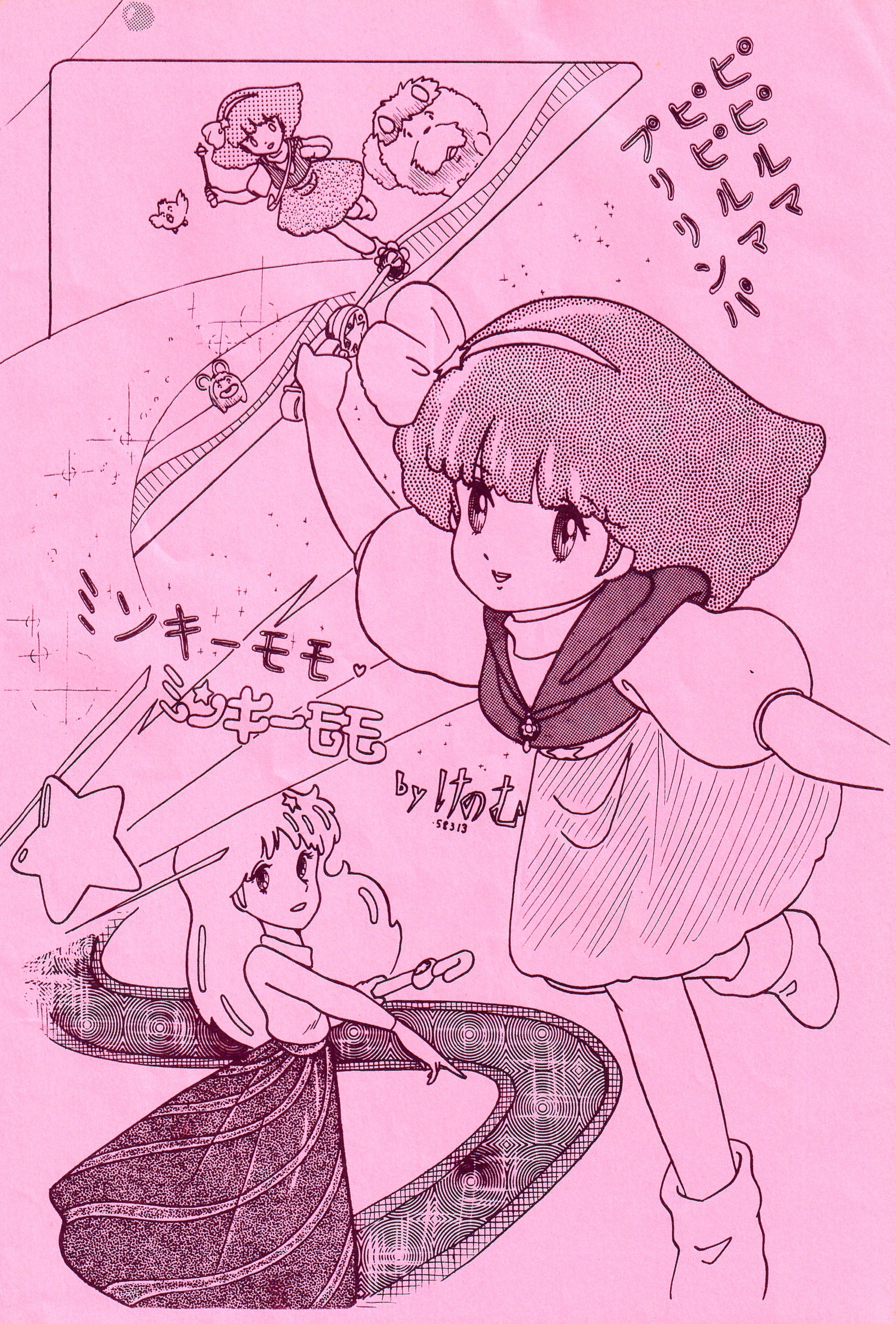
1983年11月公開 40分

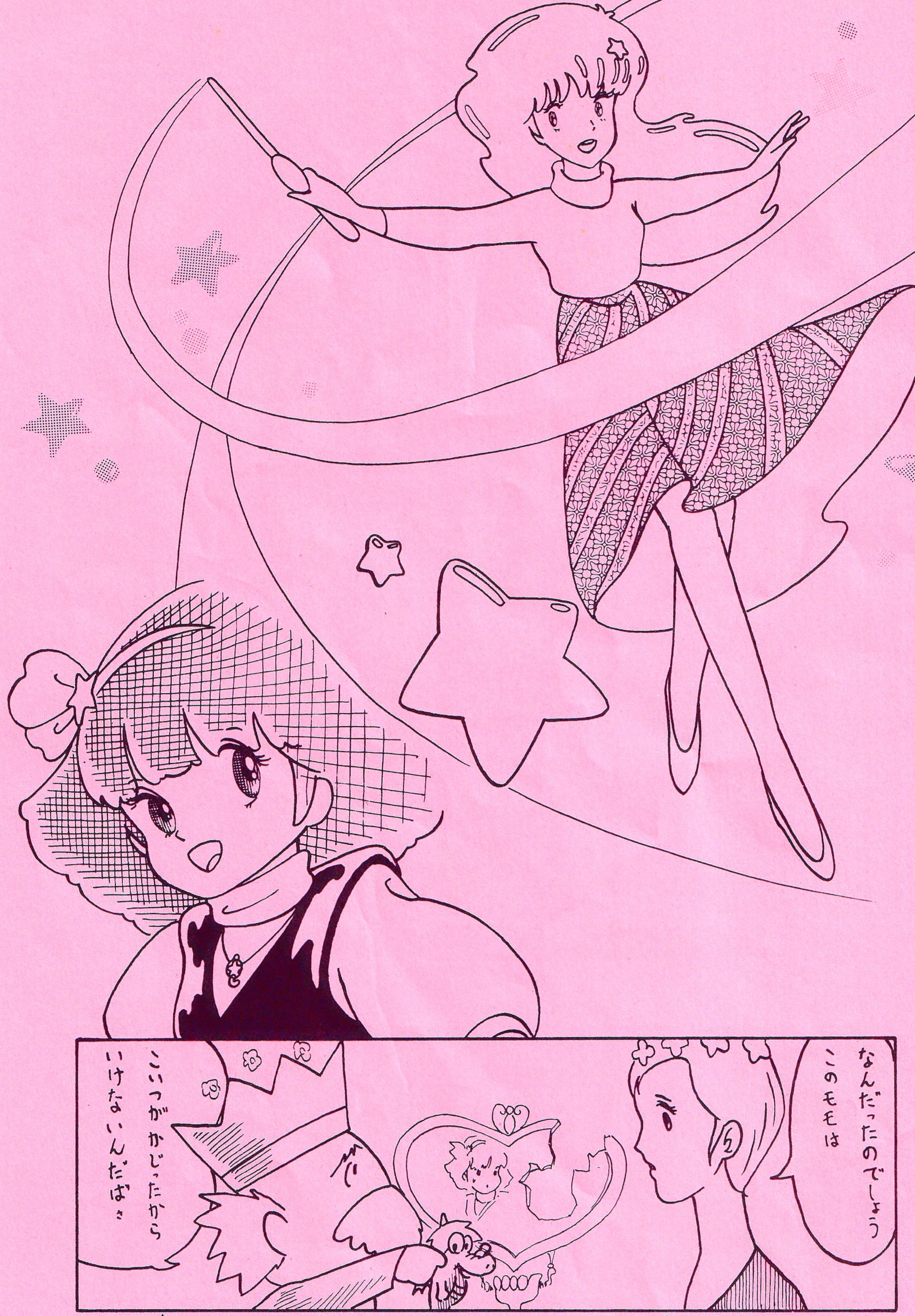

魔法のプリンセス
ミンキーモモ


おたのしみはここからだ

「ミンキ！モモ」は、たしかに一味ちがったアニメでした。ぼくたちみなさんと少し違った感情を持っている人は別として、モモそのものは普通の魔法少女でありまして、アラレちゃんの方がパッパラパーの分だけまだ新しさがありました。
ところがモモは魔法で変身するのですが、これまでの少女たちと違って何と顔がかわるのであります。
主人公に2つの顔を持たせるという、それだけで、「ミンキーモモは新しい〝魔女もの〟と呼ばれることに成功したのではないでしょうか。
ともあれ、モモが変身してくれるおかげで、一部の男の人たちだけでなく多くの男性諸君の支持を受けることとあいなったのでございます。
（Q）




ピピルマ
ピピルマ
プリリンパ
ミンキーモモ♡
ミンキーモモ
by けのむ
58313

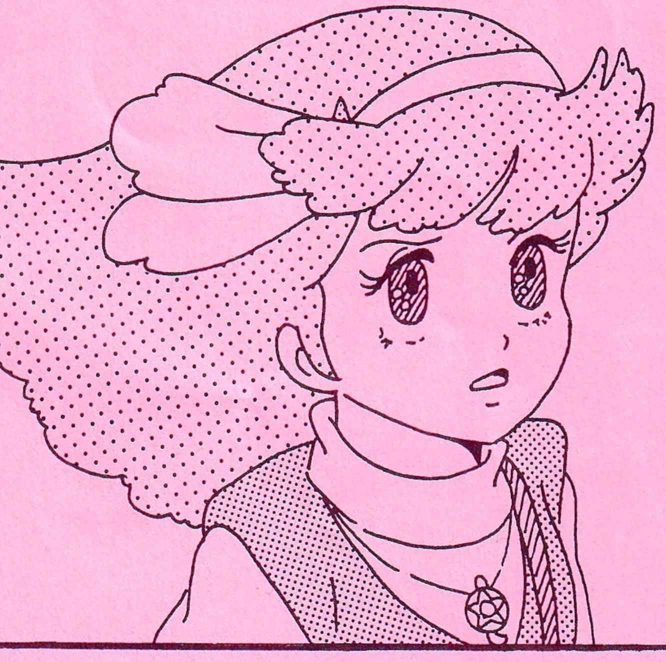


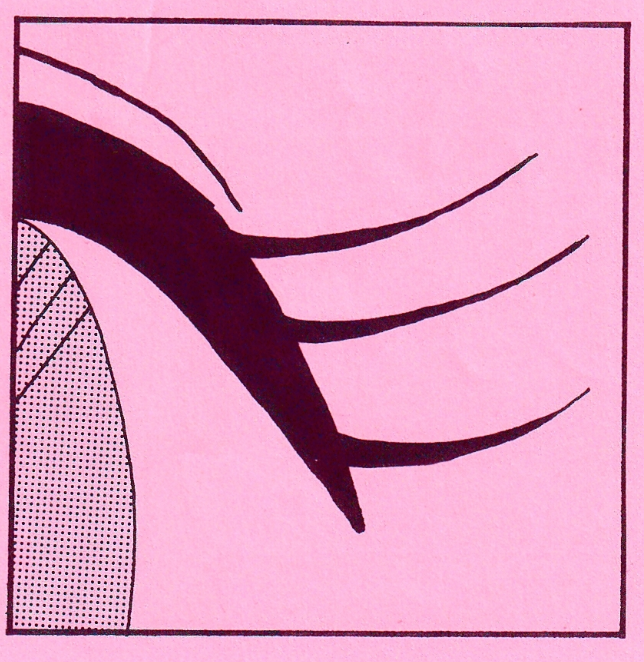
ゆけわからん内に
えんど

3月5日～3月9日

モモちゃんのここが好きの

まさと藤彦



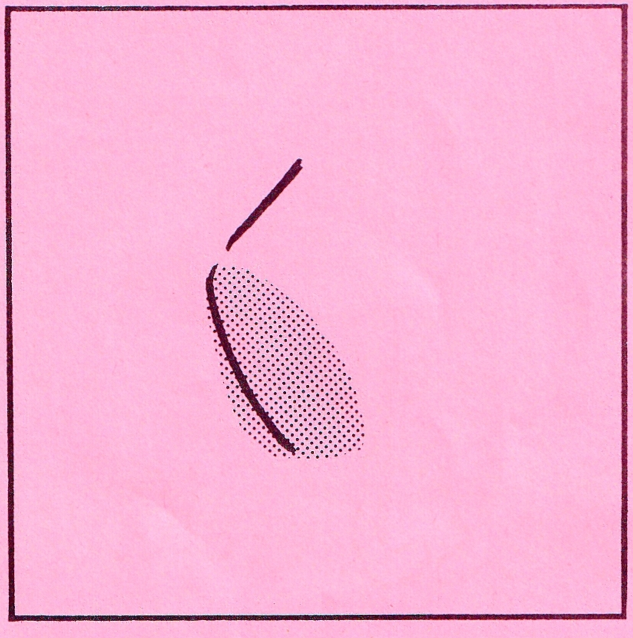


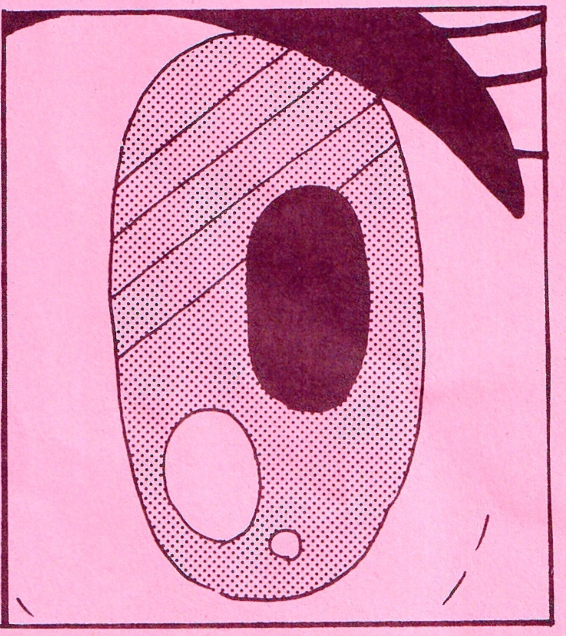
★モモちゃんの
ヨコにはねてるマツゲは、四本である（これは三本に見えることも多い。しかし、これは四本のうちの二本がくっついて一本に見えるのではないかと思う）五本もあるモモちゃんが見られることも稀にあるが、それはモモちゃんに似て非なる女の子だ。たとえばAM'82・11月号「ミンキーモモ・コレクション」43ページの女の子はモモちゃんの失敗作クローンか、スタンド・イン（これはたくさんいる）に違いない。だいたいこの女の子は、ペンダントの部分が長すぎるし、スカートの左側のはね具合が尋常でないし、瞳のスリットが長径に対して平行にはいっているし、右手の指は不気味な曲り方をしている。シンドブックとモチャー：ピピルの表情がおかしいのも、きっと偽物を前にしたた

困惑から出たんだ。——と、書いてから気付いたのだけど、LP「いつか王子様が……」のジャケットのモモちゃんもマツゲが五本とびはねてるのですね。うむ、この子も……偽モモ!? ん——、けど可愛いねえ、LPのジャケットだものな。…………うん、そう! 世の中には付けマツゲという便利なものがある。♡ You know?

で、(話は唐突に元に戻る)本物の場合だが、特に三本のときの一番上のマツゲが最高に可愛い。まん中のが好きな人も多いのではないかと思うが、ぼくは断固一番上を支持したい。

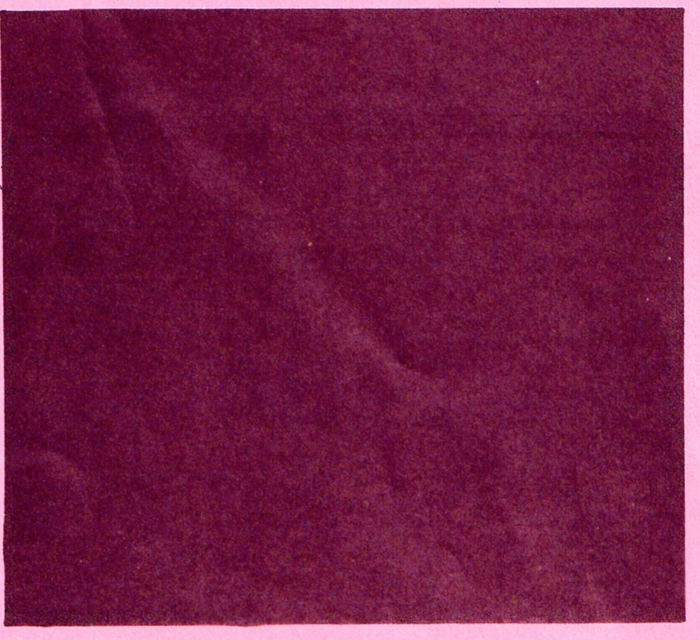
★**モモちゃんのハナ**はダイ××モチのアズキのようにちょこんとついている。しかし、これを簡単に鼻ペチャとけなしてはいけない。モモちゃんの顔がこんなにも愛らしく、しかも親しみ深く感じられるのは、美を司る神アフロディテにより完璧に計算されて造られた鼻の、あのカーブのお陰なのである。





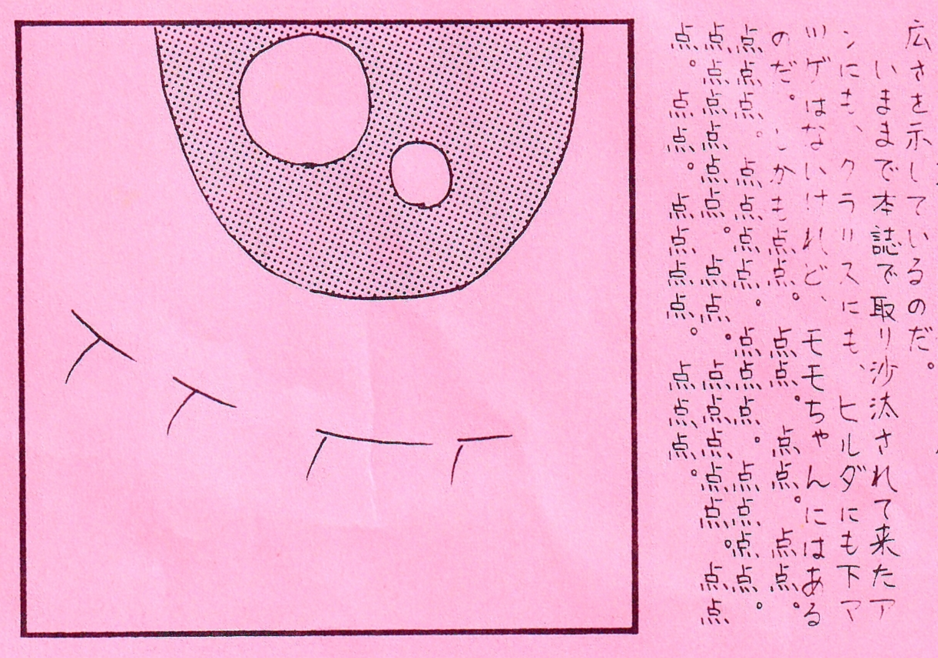
★**モモちゃんの瞳には斜線が**はいっている。この斜線が、もう、実に何と言うかたまらない。モモちゃんの瞳の斜線をジーッと見ていると、だんだんに自分の目がすわっていく。それでもなおかつ全身全霊をかけて斜線をみつめる。寄り目になってしまおうが、ひとつ目になってしまおうが、とにかくモモちゃんの両の眼の斜線をみつめ続ける。たらあありたらあありと脂汗が流れてくるけれどまだまだみつめる。時間が経過するにつれて、斜線と斜線とのす・き・ま・からモモちゃんの瞳の中にはいっていく感覚に陥る。フーーッと意識が遠のいて、気がつくとぼくは、ピピルマパパレホドリミンパ、アダルトタッチでアダルトモモの瞳の斜線になっているのだった。

★**モモちゃんの**[redacted] ——残念ながら、世の中には書いてはいけないことがあるのです。よくあることです。みなさんもよく覚えておいて下さい。

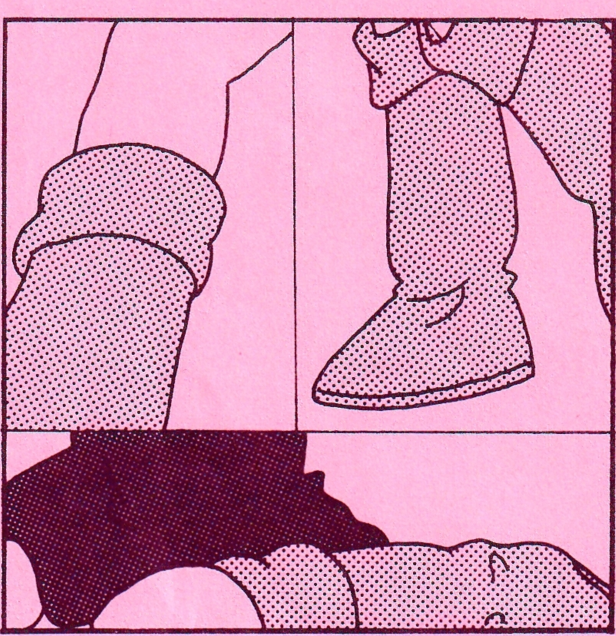


★**モモちゃんの下マツゲ**は多くの場合、片目につき三〜六の点々で構成——というか表現されていて、目のナナメ下方でなく真下についている。——可憐ですね……快活なモモちゃんには、あんまり「可憐」なんて言葉は合わないみたいだけれど、この下マツゲにだけは、この単語を捧げたい。女の子の一番女の子らしい部分が集約されているのがこの下マツゲだと言って過言でない。女のモモちゃんはあの短い下マツゲで、女の

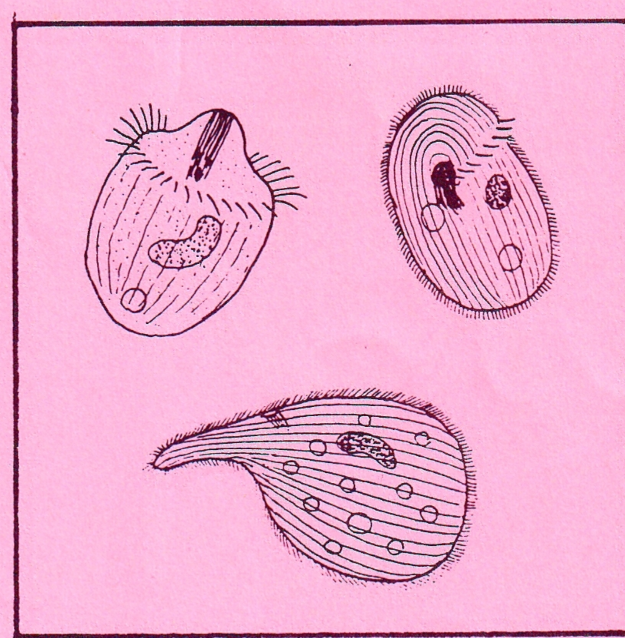
子らしい恥じらいを含んだ優しさと心の広さを示しているのだ。
いままで本誌で取り沙汰されて来たアンにも、クラリスにも、ヒルダにも下マツゲはないけれど、モモちゃんにはあるのだ。しかも点点。点点。点点。点点点。点点点点。点点点。点点点。点点。点点点点点点点。点点。点点点点。点点点点点。点。点点点。点点。点点点。点点点。点点



★モモちゃんの長い黄色いブーツは
モモちゃんの、白くて軟かくてしかも弾力があって一番美味しそうな女の子の足（但し12才以下に限る）にぴったりしてます。あのブーツならブーツだけでポンと置いてあってもサイズや色からはいていた女の子の姿が彷彿としてきていいものですが、やはりモモちゃんがはいたときのブーツのシワが好いですね。

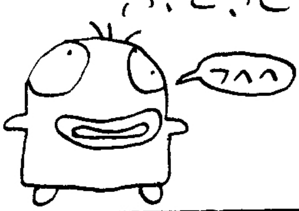


うう、あのシワはいい、実にいい、本当に頬ずりしたくなる。見ていると胸が高なってくる。あのシワに沿って、指でツーとなぞることが出来たらどんなに幸せだろう。ああ、でもシワをツツーとさわったら、きっとそれだけではすまないだろうな。モモの足からブーツをひきはいでブーツを抱きしめ、残るぬくもりとギュッと曲げたときに出来るシワにいつまでも指さはわせて毎日を送るようになるんだ。でも、そうしたら、そうしたら、――モモのスカートは、モモの肢は、モモの（いつの間にかモモちゃんのことを「敬称略」で書いてしまった。過激派モモちゃんファンの方、カミソリはシックインジェクター2枚刃にして下さい）腕は、ベストの腕のところのたるみはどうなるんだ。うおお、私のモモは誰にも渡さんぞ――。
（ワーZ）



★モモちゃんの○○は
とっても愛らしい。あの細胞口の周りの繊毛でなでてもらったら気持ちいいだろうなあ。細胞咽頭なんか見ているだけでもう胸がドキドキしてくる。それにもまして、体のラインがいいんだなあ。思わず抱きしめてしまいそうになる。私が抱きしめると彼女はきっと繊毛をゾワゾワさせて逃げようとする、でも収縮胞のあたりをなでさすってあげればそのうち……。
モモちゃんのことを強い女の子だと思ってる人が多いけれど、彼女はとてもデリケートなんだよ。あの大核と小核を見てあげて。彼女の体の中をぐるりんぐるりんはかなげに回っているんだ。
モモちゃんのこんな部分を見るなんて恥かしいっていう人もいる。けど、これもやっぱりモモちゃんなんだ。ほら、パパにそっくりなところがあるでしょ。
(す)

『アルファード』と
『UNGEA』について
かいてみたいと
人民食堂で カレー鳥から付
をたべながら
ふと、思ってしまった。



—Q—

数年ほど前、自主制作セルアニメを試すアニメ少年にとって、しかも「受け」を狙うふとどき者にとって希望の星ともいえる企画が二つありました。

一つは、マンガ家吉田あかり氏の「巨大宇宙船アルファード」であり、もう一つはアニメックなどでおなじみのI.V.A.の「アンドロメダ探検隊UNGEA」です。

「アルファード」はテレビ放映をも目指す、シリーズ物というすさまじいものであり、「アンジー」の方も全5話で声優オーディションをやり、レコード（BGM集）まで出しちまおうというすごいもの。

ただ両作品とも製作は行きずまっているようで、中断された形になっているようです。

そうこうしているうちに、『DAICONⅢオープニングアニメ』が発表され

みなさん御存知のその後のアマチュアアニメ界の活発化にともない今や忘れ去られようとしています。

しかしこれらの作品が、いや企画が時の彼方に埋ずもれてしまうのは……うう良くない、と思う。うまく言えないけれど。なんてゆーか、新しいものを作っていこうとするパワーはとってても大事なものだし、そーゆーのってとっても感動的だから。

STORY はるかアンドロメダ星雲よりもたらされた謎のメッセージ。それは何を意味するのか。

この謎を解くべく、アンドロメダ探検隊が編成された。その名はUNGEA——Unknown・Nearest・Galaxy・Expedition・Act（未調査隣接星雲探検計画）

宇宙船ペルセウスに乗組むのは一くせも二くせもある連中。そして現れる巨大戦艦と美形キャラ。テーマは「笑い」さて……。

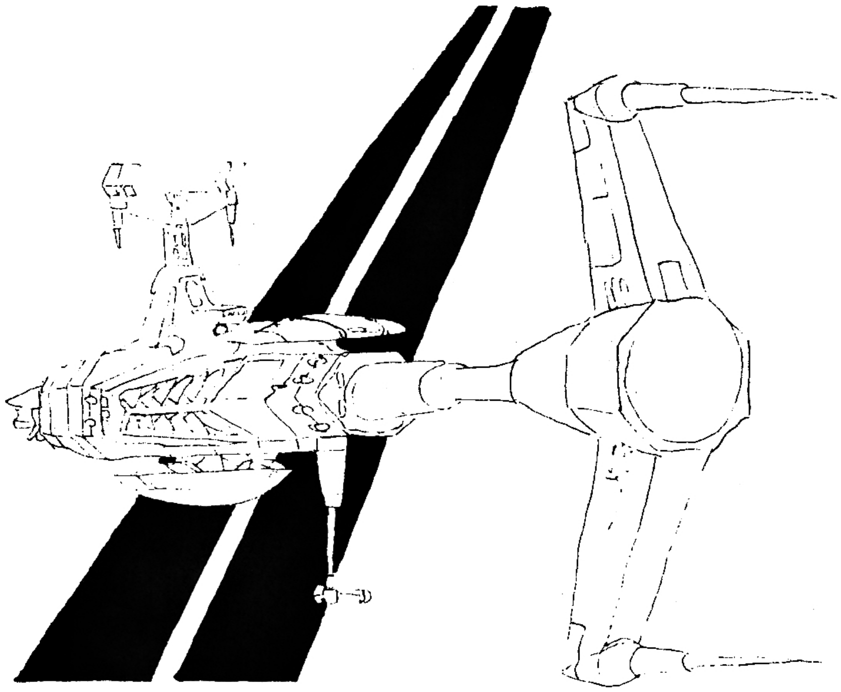
（1話30分・全5話
8ミリ又は16ミリアニメ）

「アニメは作り方次第である」という主張をもとに、パロディではなくパターンのアレンジによる「受ける」アニメを目指すアンジー。現在第一話のダイジェスト20分が完成しているそうです。

探査船ペルセウスの乗組員たち ▼
「UNGEA」より



I.V.A.さん
ゴメンナさい



STORY

今を去ること一万二千年の昔、地球にムー帝国が存在していた頃。遠い宇宙の彼方サフィアー太陽系では、反政府思想者たちが弾圧を逃れるために巨大宇宙船で脱出を図ろうとしていた……（第一話）

二話以後のストーリーは、地球にたどりついたアルファードとムー帝国の出会いと、超科学の産物ネミとの闘いを描く。タイムスリップで現代の地球に現れたアルファードには、再び甦ろうとしている超生物との最後の闘いが待っていた……そして宇宙は生まれかわる。

（1話30分・全29話）

アターシャ試論（その1）



魔法のプリンス もとはしけいいち

総監督は、アルファードのためにマンガ家を休業したという吉田あかりさん。スタッフにはプロやセミプロの人たちが参加しており、神谷明さんが主人公の声をやり、BGMはオーケストラという大規模な作品であります。

動画は一話一万枚近くあり、気にいらなければ何千枚だろうがボツという気前の良さ。なにしろ群集シーンでは一人一人の口が動くのですから。

しかし残念なことに、発案から六年が過ぎようとしているのに、第一話完成の噂さん聞かないのはどうしたことであろうか。作ってはみたが気に入らず、新しいアルファードを考えているとかいいます。残念だけど、また頑張って欲しいものです。

アニメ界の三大美女というのは、もうみなさんよく知っていらっしゃると思いますが、知らない人もいるかもしれないので、いちおう名前を挙げておきましょう。ひとりは「赤毛のアン」の、アン「シャーリー」です。そしてもうひとりは「スーパージェッター」のカオル。そして、今回の主役である「オタスケマン」のアターシャです。（ちなみに、男は「サイボーグ００９」の島村ジョー、「ドラえもん」の野比のび太「モーレツア太郎」のココロのボスであります）

というわけで、今回はアターシャの魅力を解析しつつ、彼女の持つ女らしさということ、そして女性の自由とはどういったことなのかに触れていきたいと思います。

タイムボカンシリーズは「タイムボカン」以降「ヤッターマン」「ゼンダマン」「オタスケマン」「ヤットデタマン」と続いてきました。「ヤットデタマン」以後は巨大ロボットを出したせいか面白くもなんともないシロモノになっています。そのため悪玉トリオだけが浮き上がっているからです。まあ本題はアターシャなので関係ないのかな。

では、どうしてアターシャなのか。それは、言ってしまえばアターシャが一番女らしいからです。まあ、アターシャーに限らず、いずれも魅力ある女性キャラなのです。それを特徴づけているのが、

アターシャの持つロケットなのです。いるのかいないのかは別にしても、そこには彼女の女性的な部分を見ることができるのです。

アターシャはアニメのキャラの中で、初めて、自分の持つ欲求と対峙した女性です。しばしば悪玉の女性が、正義の味方の男に寝返えることというのはありますが、アターシャの場合は、そんな生やさしいものではありません。そういった数々の矛盾を背負いながら、トンマノマントの言葉によって自分を正当化することで、自分を保っているのです。



アターシャの目的というのは、歴史を正しい方に導いて、その結果として、自分が最高の美女になることでした。しかしそのことが頭にあっても、アターシャはヒカルにも魅かれてしまうし、心の人を事あるごとに見ているのです。そして、自分の持つ弱さと常に対峙しながらも、アクダマンの司令官として二人ないし三人の男を扱って戦うのです。

おそらく、自分の性というものを切り捨てないことには、アターシャのしている仕事は矛盾に満ちてしまいます。しかしアターシャは自分の性を保持しています。これはかなりきついことだと思います。

アターシャは何を考えて、その上で見事なまでに対峙していくのでしょうか？おそらくその心の中には幸せなひとりの女として生きたいという願望がある筈です。それはドラマの中でも何度も口にしています。そして何よりも、心の人を持っていることからもわかります。しかし、アターシャは単なる、いわゆる女の幸せという方向には走りません。それは、このドラマが開始された時点でのアターシャの状況に対して、肯定しているから、あるいは、受け入れしまっていると言った方がいいでしょう。そして、その状況の中で、いい女を演じているのです。

アターシャの持つ人並みを無理に持ち上げた美貌、色気、そしてその一方で、それを器用に使いこなす才能、男以上の闘争心、そして、自分に対して素直な欲求の把握、それらが、真の力強い、そして美しい女性像としてのアターシャを作り上げているわけです。

その強さというのは、単に正義の味方の、あくまでもひとつのことを主張していく強さではない。それは常に自分にとって何が自然なのかを考えて行動していく、考える過程においては常に、今まで述べたような矛盾と対峙していかなければならない強さなのです。



こうした女性というのは他にもいないわけではなく、例えば「未来少年コナン」のモンスリーがいますが、彼女とて、アターシャほど自分の自然な欲求に対峙することをしていません。

アターシャというのは、僕たちに対して、女性とは本当はどうあるべきなのか、何をすることが人間として自然なのかということを問いかけています。だからこそ、アターシャというのは、いい女なのです。

原稿募集

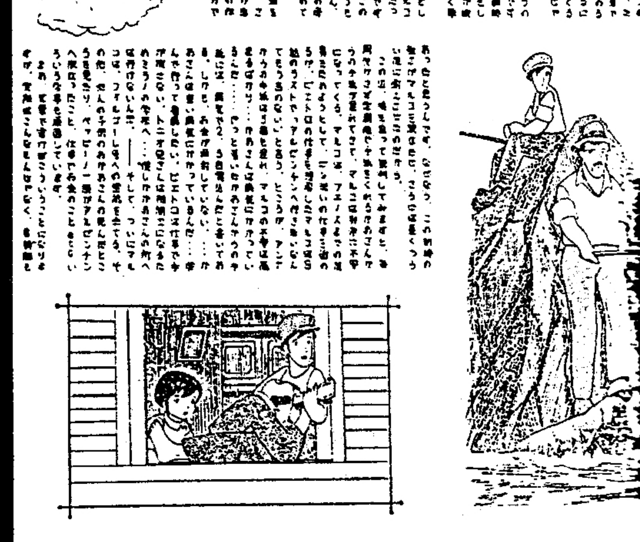
母をたずねて三千里




三千里雑感
三千里は疲れるドラマだった







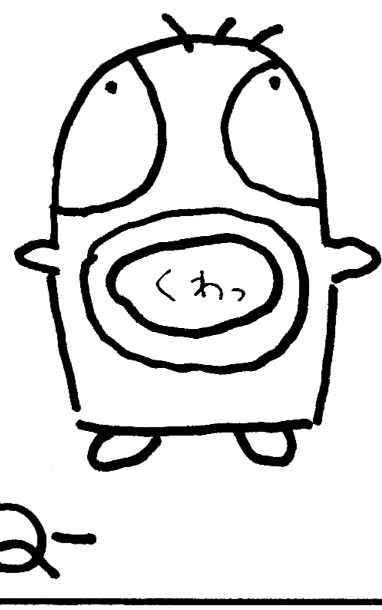
えーと，そういうわけで，かの有名な「母をたずねて三千里」の特集号を作ることとなり，（↑は現在あがっている原稿の一部です。）原稿を大々的に募集します。
内容は感想文，イラスト，マンガなどです。
締切りは夏休みあけごろまでです。
詳しくは下記まで，ハガキで連絡下さい。
ボツでも本誌差上げます。

別名「カネカリ」

茨城大学アニメーション同好会内
「母をたずねて三千里」特集号編集部

〈連絡先〉
〒310　水戸市袴塚3-12-6　大畑方　　鈴木鉄治

最近の同人誌



「やったねパパ、明日はホームランだあ」

このあいだの少年サンデー同人誌グランプリは、少々どころではない衝撃であった。

作品部門次点をみると、2人でやっている「CONTACT」という同人誌が載っているのだけれど、2人とも受賞しているのね。「IN THE NEW CENTURY」の福田君は、メカはいいんだけどストーリーは月並みなんだなあ。どっちかっつーと、絵はいまいちの「心のオルゴール」の近藤君の方がいいみたい。たがみよしひさの「フェーダイン」よりこっちの方が好みだなあ。とにかくファルコンのみなさん、おめでとう。

編集部門準入選の「太陽にスマッシュ」ほんとかよ、とつい言ってしまう。けどおもしろい怪本なのはたしか。なにしろSF大会で2冊つかんで「これください」と言ってしまったほどなのだ。少し紹介してしまうと……

ヒロイン南城圭がテニスの道を極めようと元名プレーヤーである一球和尚（これ一体さんだろ）のところに弟子入りするのだが、くいを打たせるだけで、一向に練習をさせてくれないのだ。しかし、ある日打たれたくいが激しく振動した。この時グリニッジ天文台は地軸のゆれを観測したのだった。そして、これは鬼堂蘭のムーンライトハレーションを破るスーパースマッシュの完成であった。その威力の前に闇のテニスの私設機甲師団は潰滅するのだった。



「IN THE NEW CENTURY」▲
— CONTACT より



「心のオルゴール」— CONTACT より▲

でもね、これだけではあんましおどろかないのよね。しかし、うーん、あの古山君が作品部門で入賞してしまったのだ。いかん！プロになってはいかんよっ。「エイリアンテレビジョン」ストーリーはにこにこ程度なんだけど、センスはバツグン。マニア好みの絵だし。香川大のロメロスペシャルなんか、全くかんけーないのに古山君のカットを入れてしまっているのだ。ファンは多い！だから、みたかこーいち氏みたいにデビューしちゃだめですよ。地方同人誌希望の星なんだもんね。これからも「コミックライフ」はがんばってほしいですね。

というわけで、ここではアニメにカンケーのある同人誌について少しのべてみたいのです。

アニメ先進県（？）秋田にコスモナイツっていう、すっごく感じのいいグループがあるんだけれども、ここが中心になって上映会や同人誌市（コマケット）が行われているのであります。もちろん、ここのファンジン「フィルム・ランド」はお買得の一冊。良心的な

グループおしり「太陽にスマッシュ」より▼



編集と特に「MUSHI君のつれづれ日記」が有名。このほかマンガ誌「コミック・ランド」も出ているのです。
で、数十人の有志が集って、コマケットのオープニング・アニメを作ろうということになったそうなのです。題して「FIRE FEST YOGHURT」今春完成予定だそうだけど、たのしみが又ひとつ増えたって感じなのね。

自主製作というと、パロディカセットテープの吉村文庫。「月火水木土天海冥2ーテレビまんが20年のたくらみ」切りバリやら何やらで主題歌をいぢくってるのだけれど、全部良いとはいいがたいのだけど、所々にキラリと光る作品が入っているのだ。
レコ倫カットのタイガーマスク。食人鬼だったオバケのQ太郎。父よ母よデストロンになると、もう爆笑なのだ。

おちょくりなら、少々度がすぎてはいるが香川大のロメロスペシャル。
某特撮の大家をぶち殺し、その追悼特集を組んだというしろものなのだ。
「まま、ぐぃーーっと、ぐぃーーっと」
そーかあ、そうだったのかあ、こーして円谷英二は殺られたのかあ。

いまさらクラリスでもないんだけれども、最近出たものでは「NG」と「光と影2・5」
「NG」には「クラリスⅣ」シリーズが載っておりまして、これのどこがクラリスかとゆーと、よくわからんけれど変態のシャアが好きなので、これでいーのだ。
「光と影」の方はカリオストロ公国ブルーガイドともいうべきものでありまして、いーなぁ、こーゆーの。カリオストロの新産業が切手と警備会社・ボートレース、スキー場、いーなあ。でもって、これ一冊あれば片道の旅費で往復できるもんね〜ほんとかよ、おい〜しかし、ガラパゴスペンギンがカリオストロ公国に住みついていたとは。

最後に、マンガマニア必読の同人誌「ハンプティダンプティ」。月刊で出てることからしてスゴイのだけれど、なんつってもありがたいのは、その月に出た週刊誌のリストと作品評。丁寧な誌面も加わって資料としての価値は十分。つぶれんでくれぇ。

まあ、このへんで、他人のふんどしですもうをとるのはやめときましょうか。しかし、最後に「貧乏亭」さん、もーいちど同人誌出して下せえ。フフフ、これが言いたかったのよ。



「エイリアン・テレビジョン」▲
——コミックライフ より

『さすがの猿飛』は下品なんだよね。

アニメック1月号の「あにめえる」で小牧さんが、日曜日は「さすがーー」もありますよ、とかなんとか言ってたけれど、何がうれしゅーてあんな物見にゃなれらんのだ。
絵はきたない。ストーリーはゲゲボ。ふっ、なかせるぜよ。

最近よーやく初期の下品さ（中年の下品さ。自覚しとらんだけにしまつがわるい）はなくなってきたけれど、動きのださいのにはまいってしまうのであった。首藤さんという人は人気があるようだけれど、なんかうさんくさいんだよね。実力あるのかないのかわかんないのだ。どーもふっきれないストーリーに、原作とは似ても似つかない絵で展開されるこの

『さすがの猿飛』
について言いたかったこと
でも、もう いいかなあ。



アニメにはちょっとついていきかねるわけです。

そろそろスタッフオリジナル作品が登場するのでしょうけれど、やな予感がするのぢゃ（見てないからなんとも言えんが）「さすがー」を青春学園ものにするのであれば、くどくど迷わず富島健夫にしなさいといいたい。今、アニメに一番求められているのは、「うる星やつら／オンリー・ユー」で示されたように、歯切れのいい演出と暴走する作画、そして吉屋信子あたりから流れつづける少女小説の手法であるように思うのだ。この少女小説を現代的にアレンジして作品にとり入れることが出来れば、一撃必殺のアニメが出来てしまうのだと思う。

それには富島健夫の旧作（最近のものは動脈硬化してしまっていて、クズが多い）が最適であろう。少女マンガを描こうと思ったなら、この人の本は必読であると言ってしまおう。「おとなは知らない」や「2年2組の勇者たち」「青春劇場」「青春の海」そして数多くの短編集。「さすがー」をオリジナル版でグレードアップしたいなら、富島健夫の作品から原作をもらうというのもひとつの手であろう。ぼくならそーする。（「さすがー」にはもったいない気もするが）

それはそーと、「さすがー」にオカマが出てくるでしょ。ホモでよ、ホモ。おもしろいのかね。あれ。いまさらオカマもないもんだぜよ。全く。どーゆーセンスしとるんぢゃ。気色のわるい。（あんましかんけーないけど、ホモというよりは男色はメジャーなんだよね。たとえば本屋で「薔薇族」とか「サブ」なんかきパラパラやってごらんなさい。ポンポンと肩をたたかれる。で、ふり向くと、ホモのおっさん。あんたにその気があればしめたもの。50万くらいポンとふりこんでもらえちゃうのだ）とにかく、わし、いやだもんね、オカマが出てくるなんて。

まあ、なんにしても、「さすがー」はアンがき読んでれば満足してしまうのだ。むりしてアニメを見る必要なんてないなどといってしまうのであった。めでたし、めでたし。どっとはらい。

なーんにも考えてない王様



—Q—

ダバダバの王様は、なーんにも考えていません。考えるなどとゆーこと自体、知りません。「困ったダバ」などと音声は発していますが、本当は、なーんにも考えていないのです。

指でつんつんされても、ヒジでうりうりされても、目はうつろです。てっぽうで打たれよーがホーチョーで刺されよーが、「痛いダバ」くらいしか言わんでしょーな。しかもあいかわらず、なーんにも考えていないのです。

しかし、ちょっと待って下さい。このわけのわからない生き物を笑っているうちはいーです。でも少し背すじがぞっとしませんか。何かあやしげな気持ちになりませんか。

フェナリナーサが地上におりるとゆーことはどーゆーことですか？ よく考えてみて下さい。「おとぎの国」とはどーゆー世界なのか考えたことがありますか。おそろしいですね。

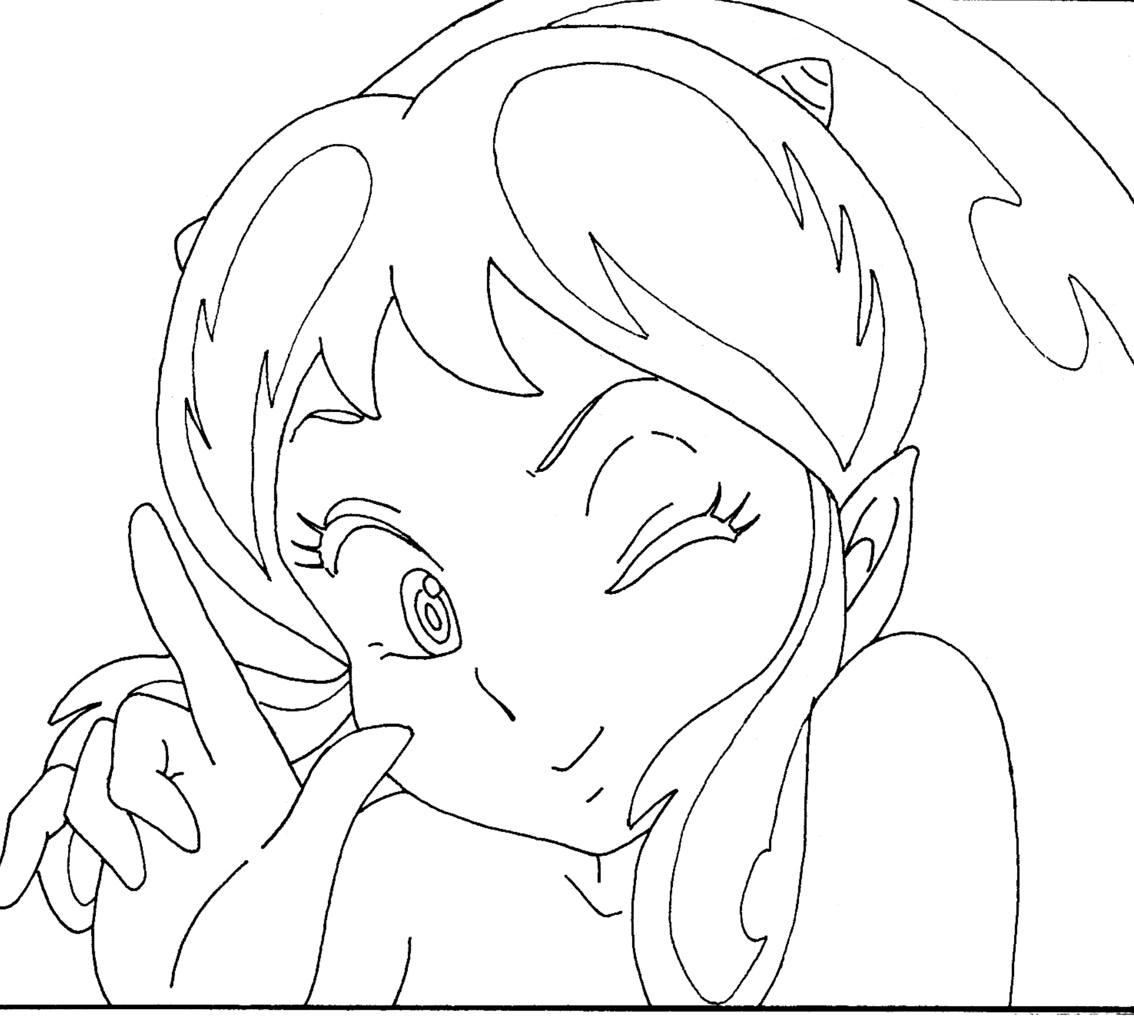
私は思うのです。あれこそが幻魔ではないのかと。

（Q）


劇場用アニメ
うる星やつら
せい
オンリー・ユー

Disk Review

BY "Dregs"





〝うる星やつら〟の登場は、アニメ史上エポックメイキングな出来事であった事は、もはや疑いようのない事実であろう。魅力的なキャラクター達の作り出す見事な作品世界は、映画化に伴い益々そのボルテージを上げ、十二分に我々を楽しませてくれている。九月までの番組延長を決まり、今後共一層期待の持てる作品である。

ところで、この作品では、キャラクターの魅力の他に、音楽の〝魅力〟についても忘れてはならないだろう。〝うる星〟に於ける作品と音楽の関係は、明らかに他のアニメ作品とは異り、（後で触れろが）その事がこの作品の魅力を二倍にも三倍にもしている事は明らかであろう。当然の事ながら、曲も素晴らしいものが多い。

今回はそういった点も含め、〝うる星やつら〟に於ける音楽の魅力について、レコード・レヴューを通して探っていきたい、と思う。あまり大した事は書けないので、まだこれらのレコードをお持ちでない方はちょっとした参考程度に、また既にレコードをお持ちの方は〝何言ってやがんだこの野郎〜程度の軽い気持ちでお読みいただければ幸いである。

Sound

〃うる星やつら〃の音楽は、前に述べた通り、作品との位置関係が今までのアニメ作品とは明らかに異っている。SSグラフィック〃の第一巻で企画の落合茂一氏もおっしゃっているのだが、〃うる星〃のB.G.M.というのは絵とほぼ対等の位置関係にあるものと思われる。そして、作品（絵）と音楽が互いに影響し合い、その結果として作品全体の質を高める原動力の一部が、生じているものと思われる。それだけに、〃うる星〃に於ける音楽の重要性は高い。

で、そのサウンドなのであるが、先ずポップでリズミックな曲が多い、という事が言えるだろう。曲によっては、リズミックという表現よりダンサブルという表現の方が良く当てはまるものもある。そして、より重要なポイントとして、シンセサイザーとリズムボックスによる所謂〃テクノ・ポップ〃サウンドが前面に強く押し出されており、特にB.G.M.の中でも主要な曲は殆ど、このサウンドで構成されている点が挙げられる。そのサウンドもまた一般のテクノ・ポップとはまた違い、より軽快で歯切れの良いものになっている。〃うる星〃のB.G.M.はどれも軽快で、非常に馴染み易いものが多いのであるが、特に作品のリズムを形成しているのはこれらシンセサイザーサウンドによるリズムであると言っても過言ではないと思われる。勿論メロディアスは静かな曲もあり、リズミカルな曲の間で、キャラクターの心情を表したりするのに効果的に使われている。なかなか賑やかな曲が多い中で、たまにこの様な曲が入るとホッとする。実に効果的だ。

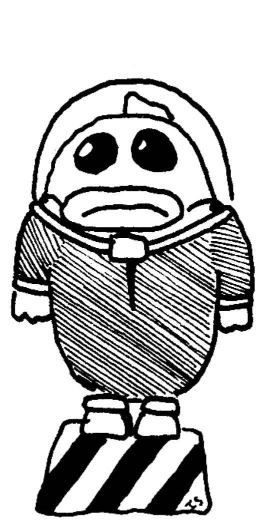
また、ディスコシーンでよく聞かれるのだが、B.G.M.として、同じキティに所属するアーティストの曲が度々使用されている。勿論、小林泉美さんもヘレン笹野さんもそこの所属なのであるが。

今まで聴かれた所だと、まずヴァージンVSの「コズミック・サイクラー」（これが「星空サイクリング」の原曲である事は周知の通り）、高中正義の「スペース・ワゴン」（四曲入り30cmシングル「フィンガー・ダンシング」に収録）、「マンボNo.5」（!!）等がある。いずれも有名な曲なので、お馴染みではあると思うが、どの曲も正にディスコといった曲。興味のある方は是非聴いていただきたいと思う。

次に、テーマソングの話になる訳だが、これについてもやはり同じ様にSSグラフィックの第一巻で落合氏が述べている訳で、同じ意見を持った（感じた）者としては非常に書きにくい。あえて書くならば、〃うる星〃のテーマソングは、従来の様なキャラクター密着型の、キャラクター名や番組タイトルがやたら出てきたりするものではなく、そういった所から離れ、アニメから独立したポピュラーソングの形をとりながらも作品世界を十分に表現したものになっている事が言える。どの曲もポピュラーソングとして良質のものであるためにアニメのテーマソングという事を意識せずに聞け、且つアニメの世界に限りなく接近しているがために聴き手がその作品世界を理解する事が出来る曲。これは、私が最も望んでいた曲の形そのままなのである。そのため私個人としても、この作品のテーマ曲には、他の種類の音楽に対するそれとは若干異るが、一種の思い入れがあるという訳である。歌詞もなかなかしゃれていて良いのであるが、何よりサウンド的に素晴らしいのが良い。これだけでも注目をするだけの価値があるのではないかと私は思うのだが、どうだろうか。ともあれ、それまでのアニメソングやB.G.M.とは異質の響きを持ったこれらの曲は、それ以後の作品に多少なりとも影響を与えている（と思う）重要なものではないかと私は思っている。

Records

現在〃うる星やつら〃のテーマソング・挿入歌及びB.G.M.集として発売されているレコードは、EP六枚、LP三枚の計九枚である（これは'82年2月現在。他に'83年3月5日に「オンリー・ユーO.S.T.（ドラマ編）の発売が予定されている。）



★ラムのラブソング/宇宙は大ヘンだ!
歌 松谷祐子
作詞 伊藤アキラ(!!)
作・編曲 小林泉美
キャニオン 7A0128(A・B面共)
'81年10月21日発売



オープニングテーマと二クール目までのエンディングテーマが収められた最初のシングル盤。

とにかく、一番最初にTVでこれらの曲を聴いた時には、その新鮮さに驚かされた。その歌詞と斬新なサウンドは従来のアニメのテーマソングには見られなかったものであり、放映以前に歌詞等が発表されていたにも関らず、「たかがアニメソング」とたかをくくって大した注目もしていなかった自分としては、「まさかこんなもの出て来るとは」と、自分の考えが甘かった事を思い知らされたのだった。

サウンド的には、A面「ラムのラブソング」はラテンリズムをベースとした軽快なテクノ・ポップ・サウンド。ドラムス、ベース、シンセサイザーによるアップテンポで無調の不思議なイントロから一転、ブラス的な音のシンセサイザーとアコースティックピアノの歯切れ良いバッキングと共に軽やかに歌が始まる。シンセサイザーによるバッキングのフレーズが印象的。ティンバレス、グィロといったラテン・パーカッションに、やはりシンセサイザーによるクィーカの様な音が、リズムをカラフルなものにし、ノリを一層良いものにしている。

対するB面「宇宙は大ヘンだ!」は、一転してブラスとストリングスによる厚みのあるオーケストレーションが主体となっている。スルド(SURDO)の低音の響きから、シャープなドラミングによりサンバのリズムが軽快且つダイナミックに響き渡る。そしてストリングスと共に例の"うるせい"コーラスが始まり、雰囲気はいやがおうにも盛り上がる。パーカッションがオフぎみに入っているのは残念だが、シンセサイザーによるバッキングのフレーズがA面同様効いている。ブラスとピアノが、やはり印象的だ。

とにかく両方共ノリの良い曲ではあるが、片やテクノ・ポップ、片や重厚なオーケストレーションと、サウンド的にはほぼ正反対。しかし、どちらの曲も、どう聴いてもやはり"うる星やつら"なのである。どちらも"うる星"の魅力を十二分に伝えてくれている。思うに、「ラムの‥」は作品に流れるサウンドを、また「宇宙は‥」は作品の持つイメージをそれぞれ代表しているのではないだろうか。そういう意味でも、重要な一枚ではあったと思う。

★心細いな/マルガリータ
歌 ヘレン笹野
作詞 地恵子シュレイダー・實川翔(「心細いな」)
安藤芳彦(「マルガリータ」)
作曲 小林泉美
編曲 星勝
東芝EMI(EASTWORLD) WTP・17310
'82年4月1日発売

三クール目からのエンディングテーマと挿入歌を収めた二枚目のシングル盤。この二曲も前のシングルのに負けず劣らずリズミカルだが、アレンジが作曲者の小林泉美から星 勝に変わったせいか、シンセサイザーをそれ程使用せず、A面「心細いな」はトランペットやティンバレスによってラテンっぽい香りを出し、リズム面ではレゲエのリズムをベースとした軽快な曲、B面「マルガリータ」はフルートの印象的なポピュラーソングとなっている。ドラムが割とタイトな二曲ではあるが、その軽快さは失われていない。

この曲を歌っているヘレン笹野さんは、現在('82年2月)、FM東京の「ステレオサンデーミュージック」及びフジTV系のドラマ「青春INGS」に出演している。彼女に興味のある方は、そちらの方もお聴きなったり御覧になったりして

劇場用アニメ

うる星やつら オンリー・ユー



みてはいかがだろうか。また、当然の事ながら本職は歌手なので、デビューシングル「キュン！と片想い」、アルバム「ロマンティック・サマー」等レコードも数枚出している。この内、'82年9月に発表されたアルバム「心細いな」にはこの二曲が収録されている。他の収録曲もなかなかポップで楽しめるので、聴いてみるのもいいだろう。

★うる星やつらMUSIC CAPS-ULE
歌　松谷祐子・ヘレン笹野
音楽　小林泉美・安西史孝・風戸慎介
キャニオン　C25G0137
'82年4月21日発売

TV版のB.G.M.集。既にシングルとして発表されている四曲「ラムのラブソング」「宇宙は大へんだ！」「心細いな」「マルガリータ」も収録されている。正に"ミュージック・カプセル"と呼べる内容で、TV版のB.G.M.の殆どをカバーしている。ただ、単なるB.G.M.集として終ってしまっていて、場面別に曲の分類がなされてはいるけれども全体としての統一性が感じられないのが残念。構成にもう一つ工夫が欲しかった。それに、曲としても、安西氏によるテクノサウンドのものはノリが良くていいのに、風戸氏のものは今までのアニメのものとあまり変わらず悠長な感じがする。

でも、ジャケットイラストは素晴らしいし、やはり大事な一枚と言えるだろう。

★うる星やつらDRAMA SPECIAL
歌　松谷祐子
ナレーション　平野文
キャニオン　C25G0150
'82年10月21日発売

このアルバムは、TVでスペシャルとして放映した「オールスター快進撃」をそのまま収録したもの。つまり、あの番組を、画面なしに音声だけステレオで聞かされている様なものである。

平野文さんのナレーションはあるが、全体として新しいものは何一つない。それより元々TV用の音声であるのだから、画面がないと何の事だかわからない部分が多い。はっきり言って面白味に欠けたスペシャルのものでもあるし。やはり、こういう形で発表するならば、オリジナルを々って欲しかったと思う。その意味で、非常に残念なアルバムではある。しかし高橋先生のイラストは素晴らしい。

★星空サイクリング他
歌・演奏　ヴァージンVS
作詞・作曲・編曲　ヴァージンVS
キティ（発売元ポリドール）
7DS0020
'82年10月25日発売

シンプルなニュー・ウェーブタッチのロックナンバー。「心細いな」に続くエンディングテーマとして、また映画の挿入歌として使われた。

やはり、ヴォーカルのA児氏のノリまくった歌が一番の魅力だと思う。この人は、実はあの「赤色エレジー」のあがた森魚である事はもう有名だと思うのだが、このシングルまでヴァージンVSを聞いた事がなかったので、こんな風にイメージチェンジしているとは思わなかった。なかなか恰好良いのだが、何とはなしに遠藤賢司氏を思い出してしまうのは気のせいだろうか。

バックコーラスに「影ふみのワルツ」の詩織さんが参加していて、なかなか良い雰囲気を出している。また、ベースラインがこの手の曲にしては（失礼!!）凝っていて、なかなか面白い。（楽器をやっている人は試してみるのもいいだろう。

尚、B面はヴァージンVSのオリジナル「ムーンライト・コースター」。こちらも楽しい曲で、気に入っている。

★I、I、YOU＆愛 他

歌　小林泉美
作詞　安藤芳彦
作・編曲　小林泉美
キティ（発売元ポリドール）
'82年12月1日発売　7DS0027

　映画「オンリー・ユー」のメインテーマ。「星空サイクリング」を除く全てのテーマ曲を作曲している小林泉美さん自身が遂に歌ってくれている。
　小林泉美さんは、ヤマハが関東甲信越地区で開催しているコンテスト「EAST WEST」出身の方で、当時のアソカからフライング・ミミ・バンド、パラシュート、高中正義のバック等を経て現在自己のグループを率いてソロとして活動している。高中バンド時代位しか彼女のプレイを聞いた事がないので、あまり大した事は言えないのだけれども、その当時はシンセサイザーによるバッキングがメインだったし、割と既にアレンジされているスコアに沿ったプレイが多かった様に思うので、そう注目していなかったというのが本当の所だった。
　最近は、"うる星"以来アニメの仕事も結構手がけてらっしゃる様なのだが、それらの曲に共通したものはと言えば、まずラテン色やレゲエ色の強いポップなリズムだろう。そして、自ら編曲しているものは、それにシンセサイザーによるデジタルサウンドが乗っかり独特のポップ感を作り出している事だろうと思う。だから、アニメの主題歌と言えども聴き易いしポップミュージックとして親しみ易いものになっているんだと思う（私は某アニメージュの記事の様に、アニメの主題歌は鉄腕アトムやマジンガーZの昔に戻る必要は今さらないと思っている。念のため）。
　この曲による映画のオープニングアニメーションがなかなか良くて、気に入っている。金と暇が許せばまた観に行きたいものだと思っている。
　B面は彼女のオリジナルで最新アルバムに収録されているナンバー「LOVE GAME」。こちらは完璧なレゲエで、気分はもう夏という感じ。こういう曲こそ小林泉美らしさがあるのだと思う。一度聴いてみて欲しい。

★影ふみのワルツ 他

歌　詩織
作詞　藤田詩織
作・編曲　西村コージ
徳間音工（アニメージュ）
'82年12月15日発売　ANS-2002

　映画「オンリー・ユー」挿入歌。ストリングス、フルートを前面に出した美しいワルツ。詩織さんの声が曲想にとても良くマッチし、曲の魅力を十分に引き出している。
　「I、I、…」が作品としてのテーマなのに対し、この曲は言うならば物語としてのテーマなのだと思う。エルのテーマとしてだけでなく、アレンジを変えて映画のあちらこちらに使われていた。とにかく「I、I、…」といいこの「影ふみ…」といい「ラムのバラード」といい、映画に使われた歌はどれもきれいで、とても良く雰囲気を盛り上げていた（「星空」はそうとも言えないが）。
「B面は、やはり彼女のオリジナル曲「SING SING FOR ME」が収められている。

★ラムのバラード 他

歌　平野文
作詞　實川翔
作・編曲　西村コージ
キャニオン
'82年12月21日発売　7A0240

　映画「オンリー・ユー」挿入歌。B面には「恋にダンス！ダンス！ダンス！」が収録。ラムの声を演じている平野さんが歌っている。
　とても良い雰囲気を持った名曲だと思う。しかし、これを聴く限りでは、平野さんはそれ程歌はお得意でない様で、歌っている中にも所々恐い所がいくつかある。しかし、あの声で歌われると本当にラムが歌っている様な気分になってしまうから不思議だ。
　余談ではあるが、ついこの間始まったアニメ新番組に「亜空大作戦・スラングル」というのがある。それで、〃セクシー・の声を平野さんがやるというので、一度見てみたのだが、今一合わないなという感じがしてしまった。ラムにこちらが慣れ過ぎてしまっているせいもあるのだろうが、それでもあの声質はちょっと他には合わない様な気がする。もったいないが、NHK以外はやはりラムに絞ってやって欲しいというのはこちらの贅沢なのだろうか。

劇場用アニメ
うる星やつら オンリー・ユー



★うる星やつらオンリー・ユー O.S.T.
（BGM）
歌　小林泉美・ヴァージンVS
音楽　小林泉美・安西史孝・天野正道
キャニオン　25P7262
'83年2月5日発売

映画「オンリー・ユー」のBGM集。
映画のみならずこちらの方も好評だとかで、まずは良い事だ。個人的にもとても良く出来た良いアルバムだと思っている。

このアルバムを聞いてまず感じたのは、TV版のBGMにある"軽さ"があまり感じられない、という事。映画のB.G.M.という事は当然意識されているだろうし、また映画の内容も、TV版のギャグ色を抑さえ、ラムとあたるのラブストーリーを中心にしている事もあるのかもしれない。とにかく、TV版の雰囲気を残した曲は、弁天が宇宙マイクロバズでメガネ達をかき集めるシーンに使われたA⑧のM-16とラストのB⑮M-48位なもの。後の曲は、どれも"真面目"なものばかり。

それに加えて、映画のB.G.M.ではほぼ全般に渡り、豪フェアライト社のCMIというデジタルシンセサイザーが使われている。これも"軽さ"を感じさせない原因の一つだろう。

TV版のB.G.M.に使われたアナログシンセサイザーに対し、デジタルシンセサイザーはよりリアリティのある音を作る事が出来る。しかし、操作が面倒な事、まだ高価な事がネックとなってまだそれ程普及していない。また、音の合成方式にもメーカーによって違い、フェアライトは与えられた情報により各周波数の波長を重ね合わせて音を合成する方式である。この場合は、既存の音を波型解析で分析した情報を基に合成している。このタイプは音の立ち上がり等で今一歩リアリティが出ないそうだ。同じ様に既存の音を記録し再現する機材に去年のSF大会で難波弘之氏が使ったイミュレーターがあるが、これは少し方式が異なる。他にはシンクラビア、FM音源方式のヤマハGS等の機種がある。これらの機材に対する詳しい説明は長くなるので省略するが、ジョフリー・ダウンズ（エイジア）、パット・メセニー・グループ、チック・コリア等がライブ・レコーディングで使用している。興味のある人は、是非これらのレコードの方も聴いてもらいたいと思う。

デジタルシンセサイザーを使った事で音の"軽さ"が抑さえられたのだが、それに加え、音の厚みも増し音色もよりクリアーなものになっていると思う。音が荒いという人もいるが、ストリングスの冷たい抜ける様な響き、パイプオルガンの重厚な音には、やはり捨て難いものがある。ブラスの音は少々リアリティに欠けオルガンっぽくて残念なのだけれども、やはりこれらの音の持つ魅力というのはこのアルバムに於ける重要なポイントではあると思う。

惜しい事には、アルバムの構成と収録時間の関係だろうか、映画に使われながら未収録のものが結構ある。でも、3月5日発売の「ドラマ編」には収録されると思うので、そちらを是非楽しみにしたい。

どの曲も甲乙つけ難いが、特にA③④⑥、B①⑧⑮が気に入っている（A①②は別格）。とにかく、まず聴いてもらいたいレコードである。

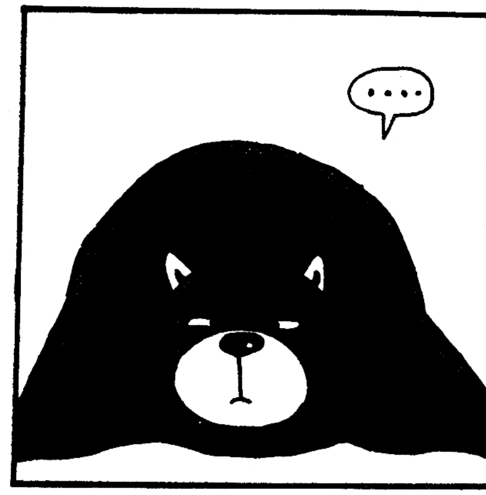
でもこのレコードも、映画が始まるまであまり期待されていなかったようだ。何しろ某レコード店では私を含めて二枚しか予約がなかったのだから。これだけが残念な事だった。

★　★

何はともあれ、とにかく一度聴いていただきたい。どれも素晴らしいレコードであるのだから。

協力：斉藤勝彦、田中厚史 & OTHERS

クマ



人生の価値がその長さでは決まらないようにドラマのキャラクターの価値もその出演時間の長短で決まるわけではない。わずか数分間出演するだけの脇役が主人公の運命はおろか物語の動向をも左右してしまうことはよくある。つまり影の主役ともいうべき登場人物だ。

たとえば「果しなき流れの果に」の佐世子ー彼女が作品の中で占める量は微微たるものである。しかし、軒先から見える葛城の山々の四季をただおだやかに見つめ続けた佐世子の生涯とむごたらしい虚無の底に描かれた不可解な文字にむかってはげしくあらあらしくはばたいていった野々村の旅はどちらも同じ意味を持っている。佐世子がどれほどはかなげであろうと彼女がいてこそ物語は終りをむかえることができるのだ。

さて「うる星やつらオンリー・ユー」の場合はどうだろうか?

主人公はいうまでもなくラムである。これに異論のある人はいないことと思う。

ではあたるはどのように位置づけられているのだろうか?「オンリー・ユー」においてあたるはまさにまったくなんにもしていない。全宇宙的規模の究極ハーレム構想にその思想の一部が垣間見えるのみで具体的積極的行動はほとんど見られない。だがあたるもまた主人公であることにまちがいはない。むしろ彼の存在は主人公・脇役といったキャラクターレベルの問題ではなく作品の根底自体に関わる根本的基本設定といえるのではないか?

ともかく、ラムとあたるが「オンリーユー」の主人公だというじつに常識的な点には私もまったく賛成である。

では彼ら主人公と思想的相補関係をなし、作品の深奥構造を支える登場人物はいるのだろうか?そう、そのような存在が必要なことは明白である。なぜならあたるとラムの関係をより深く描こうとすればそれを支え得る逆方向のベクトルが絶対に必要だからである。なにごとも反作用無しには存在し得ないのであり、その描写が欠ければラムの愛もうわっつらだけの軽薄なものとなる。

はたしてこれほどの重大な意味を持った登場人物とは誰なのだろう?

エルだろうか?たしかにこの作品における彼女の立場は重要である。エルがいてこそ事件が起こり作品は成立する。

しかし、彼女ではないのだ。なぜなら彼女の行動を支える思想的根拠はラムやあたる達主人公のそれとまったく同一だからである。この意味でしのぶやランを始めとする美女キャラクター群及びテン・面堂・メガネらが失格する。そもそも彼らではあたるの迫力にかなうべくもない。迫力・パワーの点であたるやラムに対抗し得るとすればさくら・錯乱坊が考えられる、しかし残念ながら今回彼らがその真価を発揮しているとはどうしても考えられない。そのことは作品を見ればあきらかである。したがって彼らもまたまったくの脇役にすぎない。

では「オンリー・ユー」に「影の主役」は存在しないのだろうか?これほどの作品がその基本構造に致命的な欠陥を持っているというのだろうか?

私のこの心配はまさに終了直前になってようやく解消する。あたるとラムの結婚式場にあの御方はいた……。

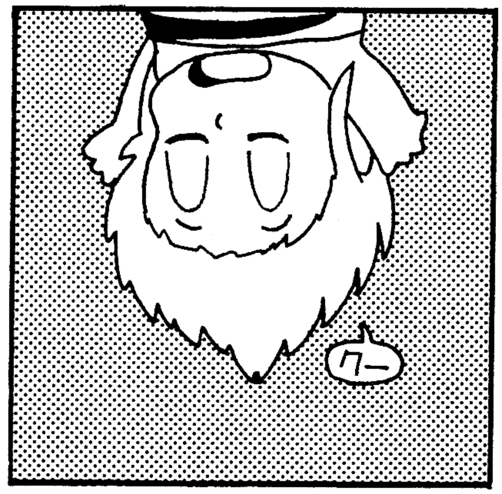
クマである。金太郎のクマである。彼こそこの作品を背後より支える「影の主役」なのだ。その理由は彼の目が語っている。疑いを持つ者は彼の眼を納得のいくまで見つめるといい。必ずや私の言わんとすることが理解できるであろう。また左側最前列手前から3番目という場所も彼の重要な位置を示している。しのぶやさくらを前に立てるとはなんと謙虚な態度だろう。私はこの作品における彼の意義を証明するために百万言を費やすこともできる。また反論もあるかもしれない。しかしあの深く澄んだ眼ざしの前では、いかなる言葉も重みを失う。

あたるとラムの出会いは感動的である。しかしその出会いを導き出したまことの主人公ークマに触れずして「うる星やつらオンリー・ユー」を語ることはできない。このことを私達は忘れないようにしよう。

(す)

劇場用アニメ
うる星やつら オンリー・ユー

テン



「友引高校上空に突如として出現したバラ艦はカツオノエボシにそっくりでかわいいなあ」などという変態もいることはいる。しかし「オンリー・ユー」の魅力を普通にあげるとすればやはりかわいいキャラクターがいっぱいでてくる点にあるのではないか。パンフレットにも〃弁天・おユキ・クラマ姫……とたくさんのきれいなねーちゃんが登場し、１つの魅力になっているうんぬん〃とはっきり書かれておる。たしかにラムそしてエル、さくらといったそこそこにかわいい人々がスクリーン狭しと活躍、あるいはただひたすらメシを食っていたりする。けれどあの作品で最も「かわいい」登場人物は誰かといえばやはりテンだと思うのだよ。

テンは小さいからまだ自分でドラマを引っぱっていくだけの力はない。で、ラムやあたるの後をいつもくっついて歩いて（飛んで）る。そのおかげでぼくらはいっぱいテンの顔を見ることができる。もっとも「小道具としてのテン」という

イメージが制作者の頭にあるような気がせんこともない。

ともあれ具体的にテンがかわいいシーンをあげればやはり牛どん屋で寝てるところとエル星の牢屋の中で鎖を引きずって歩くところの２ケ所につきるんではないかしらん。もちろん他のテンもみなかわいいのだがこの２ケ所は特にテンのかわいさの二通りのタイプを象徴していると思うのだ。

後者を先に説明すると、あのシーンの魅力はやはり鎖を引きずるしぐさもさることながらやはりテンのセリフである。

「おい。こらぁ〜とまぁこんだけいいたかったんや。おやすみ」

この心の奥底からしぼり出されてくる魂の叫びに心を揺り動かされない人間がはたしているだろうか？まさにあの場面はテンの独壇場である。しかも彼は自分が盛り上げたその雰囲気を惜しげもなくあたるに譲り渡してしまう。

「おまえ、泣いとんのか？」

テンのりっぱなのはつねに自分の立場をわきまえているところであろう。うん。

少し話がずれたがとにかくあのこ憎らしさがテンのかわいらしさの大きな要素だ。憎さあまってかわいさ百倍というのもばかばかしいがまさにそういうかわいさなんだな。

さて前者である。あれはもうテンが無防備に寝ている姿がただひたすらかわいい。まさに〃思わず抱きしめたくなっちゃうようなかわいさ〃ですな。

引用になるけれど「ぱふ」2月号のかわいいキャラクター・ベストテン!!という特集でテンは堂々第10位に入賞しておいる。その解説はテンのかわいさを感覚的なものであるとして〃テンちゃんを抱きしめたら、ほこほこして気持ちいいだろうな〃などと説明している。

まったく同感。最初に読んだときはふんふんと読み流してしまったが、「オンリー・ユー」を見た今はじつによく理解できる。そう、テンを抱きしめたいという気持が心底から沸上ってくるのだ。

これと同じような印象を受けるキャラクターに「パンダコパンダ」のぱんちゃんがいる。あれもじつに〃ほこほこ〃しているんだなあ。ぱんちゃんが給食室で「おもち」とまちがえられるところなぞまさにテンに通じると思う。さらに言えば逆立ちしたときのミミ子のパンツにも関係していそうだがこれを書き出すと話がおかしくなりそうなのでやめる。つまり、形態的なものからくるかわいさなんでしょうこれは。

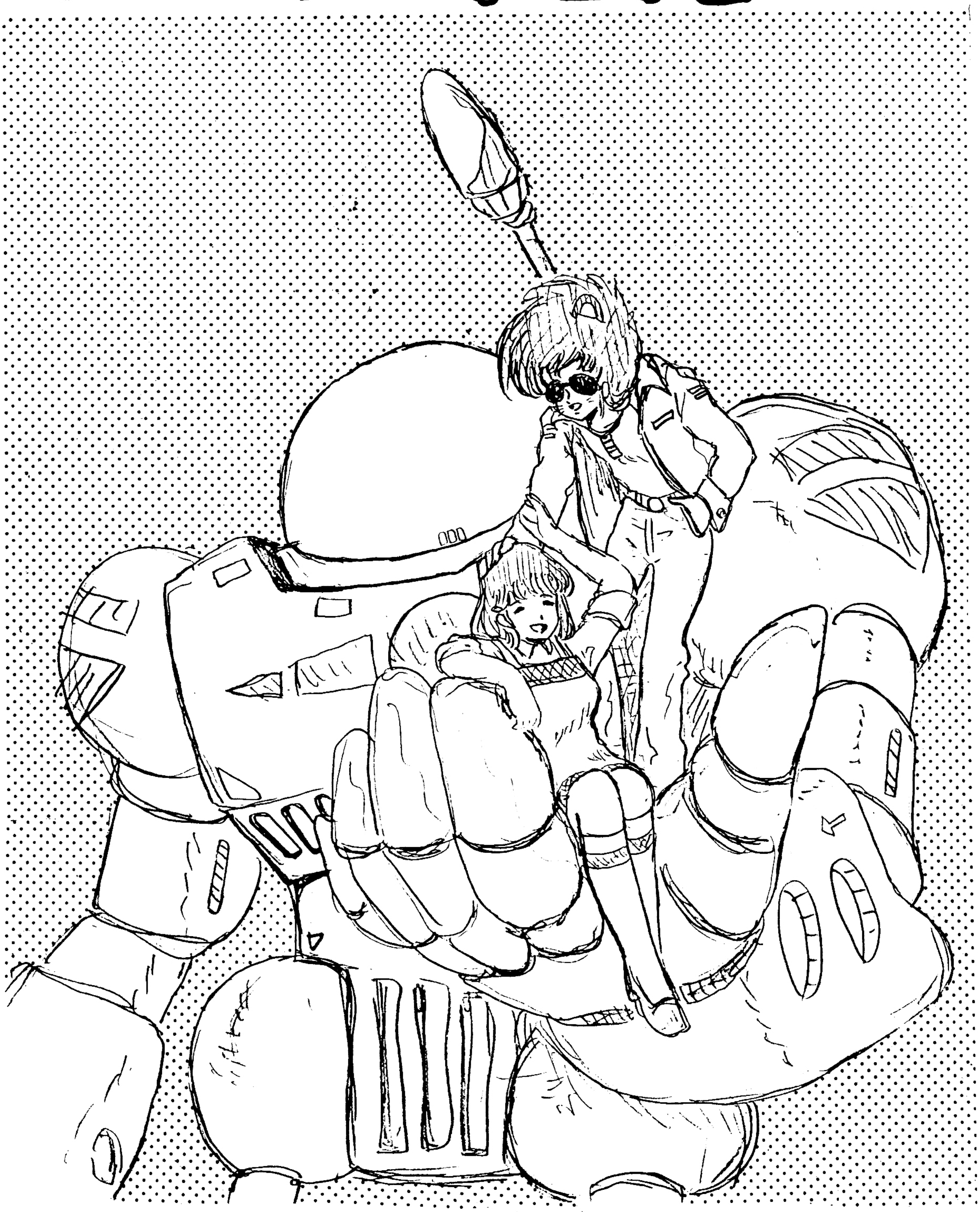
それにしても喫茶店でおねむになったテンが眼をこするシーンがカットされたのは残念だ。動いていればとてもかわいいだろうに……。

突然現実的な話になるがシルベスターというぬいぐるみを御存知だろうか？黒いボテッとしたネコのぬいぐるみなのだがこれがいい。なにがよいかというと抱き心地が最高なのだ。テンちゃんを抱いたらかくやと思われるあの感じ。ぜひおためしください。私はデパートに行く度に抱きしめている。もう少し安ければ買うんだが……。

というわけで動物やぬいぐるみのような無邪気さとあの怖るべきこ憎らしさが同居している所にこそテンちゃんのかわいらしさがあるのだと思う。

（す）

アイちゃんと宇宙ネコ



解説

「アイちゃんと宇宙ネコ」とは実在するアニメーションのタイトルであります。おそらく「モコモコ」の読者でも実際に見たことのある人は皆無に等しいことと思いますがとにかく嘘偽りではなく現実にフィルムの存在している作品です。「アイネコ」はいわゆる自主制作アニメーションです。茨城大学のアニ同やSF同好会を中心としたグループ(?)"かねかり"が制作しました。データを上げます。

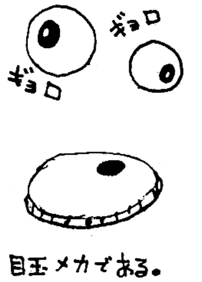
一九八二年度作品
8ミリカラー・セルアニメーション
秒速24コマ・磁気録音
上映時間—約6分
使用セル総枚数—約800枚
直接制作費!—6万円

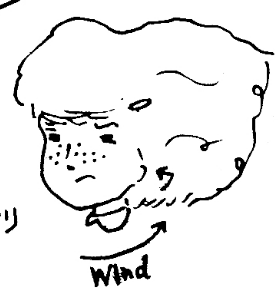
というわけで「アニメ制作ノート」はノン・フィクションです。ただし、「ランナーノート」の方は責任持てません。

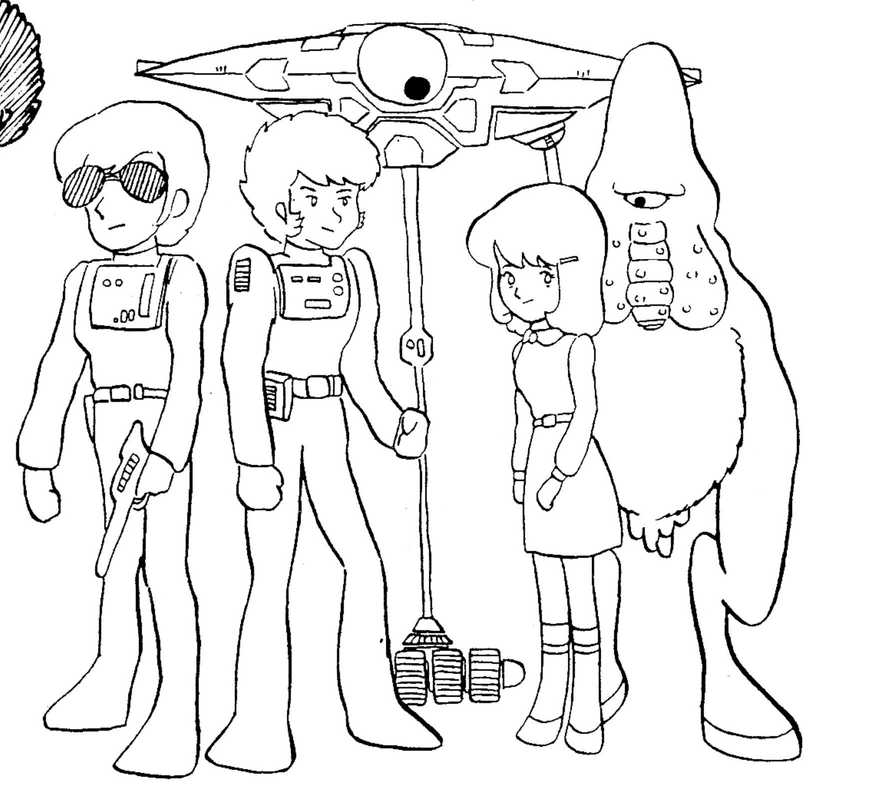












幻のアニメ
「侵略の条件」より

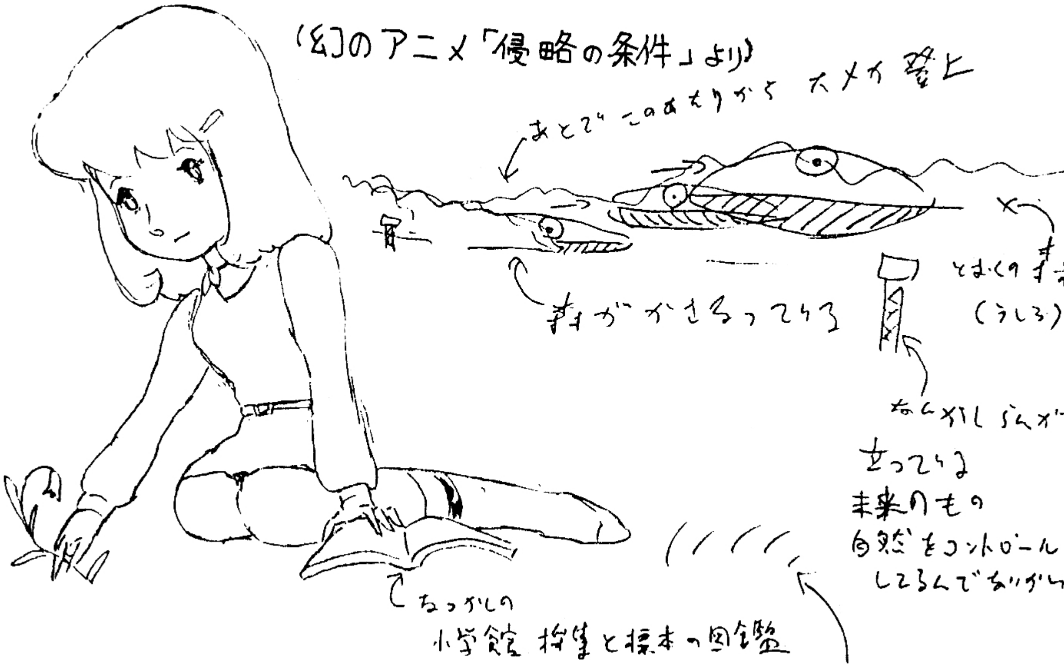
制作ノート

一九八一年
十月七日
住吉くんがもっともらしいことを書いてこのノートは始まったのだった。にゃんころりんが切株で寝てる絵が表紙。
十月九日
ストーリーの設定が始まる。侵略もので女の子がでてくることが一等最初に決った。肝心のストーリーはわやくちゃだが女の子の設定のみ「膝上のスカート」だの「ソックスは白」だのなんと五行にもわたってこと細かに書かれている。
十月十日
上西さんが三つ穴タップ用の動画用紙を買ってきた。これはいまだに使わんと残っておる。
——この後三十ページにわたってストーリーやらキャラクター設定やらが載っている。野原に植物採集に来た女の子が地球侵略をねらう宇宙人のメカに襲われ、女の子は知らんうちに宇宙人を退治してしまうというお話であった。
——茨苑祭(十一月末)前後の二ヶ月余が最もさかんに設定を作った時期である。やたらと細い状況とか精密なメカ設定が山のように作られた。この頃はまだ、かんとくとかえんしゅつとかいう役職にこだわっていたらしい。
——宇宙人はネコなんかじゃなくなんと美男子である。やたらすごいメカを出すつもりでいた。それにしても全カットの構図と動画構成を考えるつもりでいたらしいことは驚きである。
——茨苑祭に向けてディスプレイ用セルを作ろうという話もでたが結局つぶれた。

茨苑祭では資金かせぎと称してクジと輪なげをやったのであった。

十二月十日

最初のセル画完成！上西さんが女の子のアップを書いた。後から見れば稚拙な出来であるが偉大な一歩である。最初に買ったアニメカラーはわずか十色、セルも十枚—どちらにも生まれて初めて触ったのだった。



幻のアニメ「侵略の条件」より

—ここまできて女の子の設定が変更になった。絵コンテ用の設定まで作っている。

—設定とストーリーはますます複雑きわめ矛盾が矛盾を呼び収拾がつかなくなってきた。それでも上西さんは絵コンテを数枚書いている。

一九八二年

お正月—冬休みの間に二つ穴用のタップを作った。下じきにパンチで穴をあけ圧着端子なる電気部品を取りつけるというおそらく世界に類を見ないタップである。これは今も実用に耐えている。

「8ミリアニメ映画の作り方」なる参考書を読んだのもこのころである。あえて役にたったと書いておこう。

一月十三日

つじつまの合ったおはなしにするため悪戦苦闘が続いている。おそろしいことにおはなし作りの責任が角張くんと住吉くんにおっつけられてしまった。

一月十七日

運命の日である。今までのお話はすべてボシャった。つじつま合わせが限界に達したのだ。最初からやり直しになったが、結果的にはこれでよかった。

一月二十日

お話をつくる。さあはじめよう—結局なにもせず。某氏の頭の中でコロッケの妄想がうずまく。

一月二十二日

お話……わからん。

一月二十五日

ネコがコロッケを盗むという妄想が元になって「少女と猫」（仮題）なるお話ができる。ノートにはドイツ語の時間にできちゃったとある。

あらすじ

「猫のかっこをした異星人が地球を侵略に来ます。猫はてはじめに一人でるすばんをしている女の子の家をおそいます。けれどもそれは失敗してしまい猫は女の子の飼猫になってしまいます。」

細かい設定は身を滅すということがわかっていたのでこのように一見はしにも棒にもかからんようなストーリーが選ばれた。あってなきがごとしの話こそ完成への近道。

一月二十六日

例によって女の子のキャラ設定が先に決まる。女の子の絵と敵ロボットの絵で一冊目のノートは終った。



アイちゃんと宇宙ネコ

一月二十七日
絵コンテもどきがノートに書かれはじめる。最初は家の中で戦闘させるつもりだったのでここらへんのはすべて闇に消えてしまった。

二月
後期試験が始まる。トレス台を拾ってきたのもこのころではないか？店用のアイスクリーム冷蔵庫のガラス扉である。この下に蛍光燈を置けばりっぱなトレス台になった。それにしても大学というところはいろんなものが落ちている。

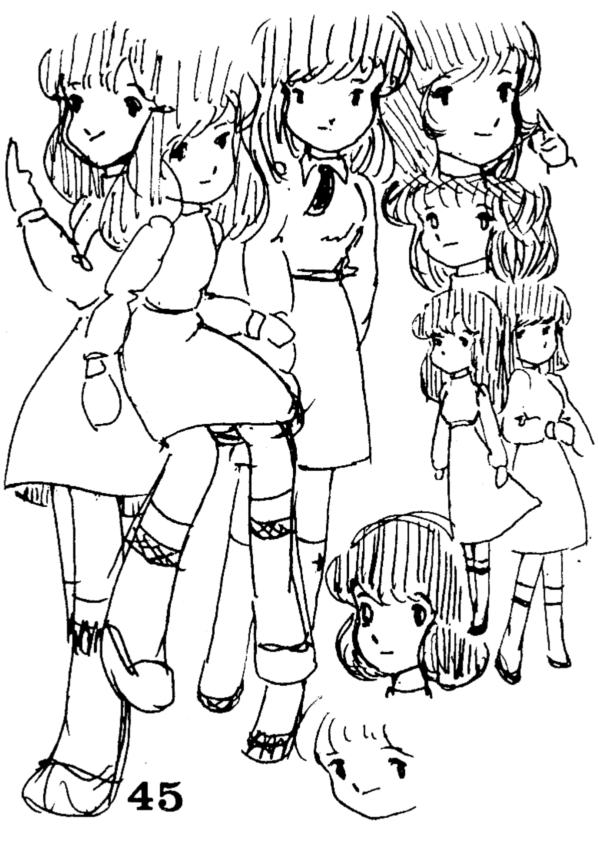
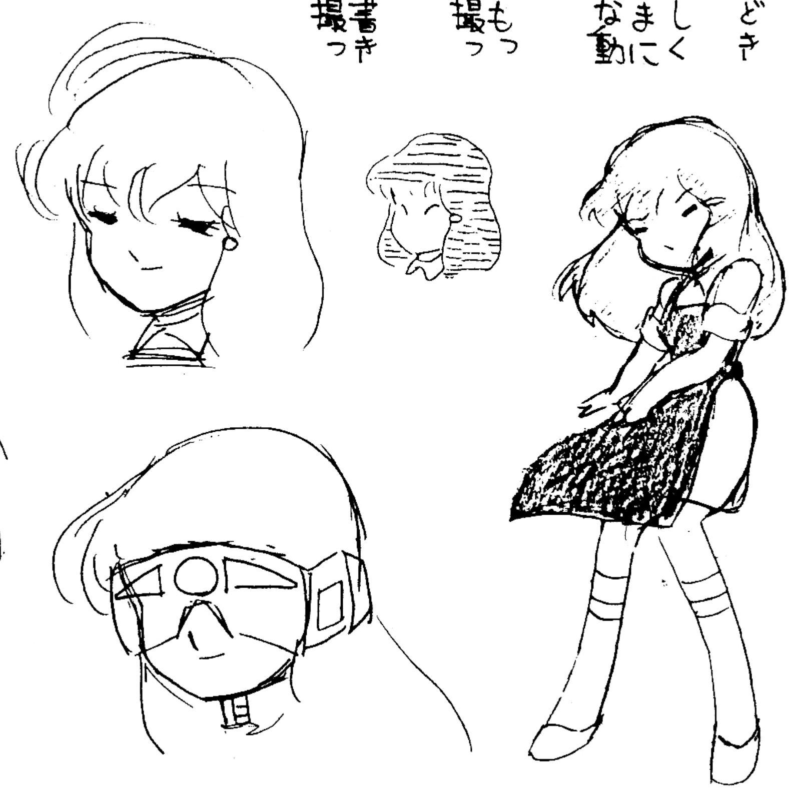
二月十四日
SF同好会卒コン。ついに春休みになったのだが仕事はあまり進んでおらん。それでも上西さんが女の子や宇宙ネコの設定を作った。アニメカラーもだんだん増えてくる。
一フレームの大きさが16.5cm×22.5cmに決まった。田中くんがスーパー8の8ミリカメラを買った。24コマ/秒に決める。
二月の末頃はいろいろと物は買ったが仕事はほとんど進展していない。
撮影台は長崎屋ホームセンターで組立て式スチールラックを買ってきてその骨組を利用する。長崎屋はなんでもそろうのでよい。

三月一日
角張くんが東京から帰ってくる。パナック工業で230×265mmのセルを二百枚（一枚25円）、アニメックで手袋を四つ、ヨドバシカメラで無反射ガラス280×350の3ミリを購入してきたのだ。
いよいよ本格的に作業が始まる。毎夜毎夜トレスと彩色にあけくれる日々が始まったのだ。上西さんは作画にかかりきりなのでトレス・彩色は角張くんと住吉くんの二人しかいない。もっともこのころ住吉はえたいの知れぬ絵コンテもどきを描いていたという説もある。
田中くんがテニス部などでいそがしく来られないのがつらい。しかし、たまに来たかと思うと一夜にして山のような動画を描いて行く。怖ろしい男だ。

三月八日
ついにカメラで撮影を開始する。もっとも動画しかも直接関係ない動画を撮っただけであるが……。

三月十日
こんどはセルを撮った。いたずら書きに近いネコの一枚セルを引っぱりで撮っただけだが……



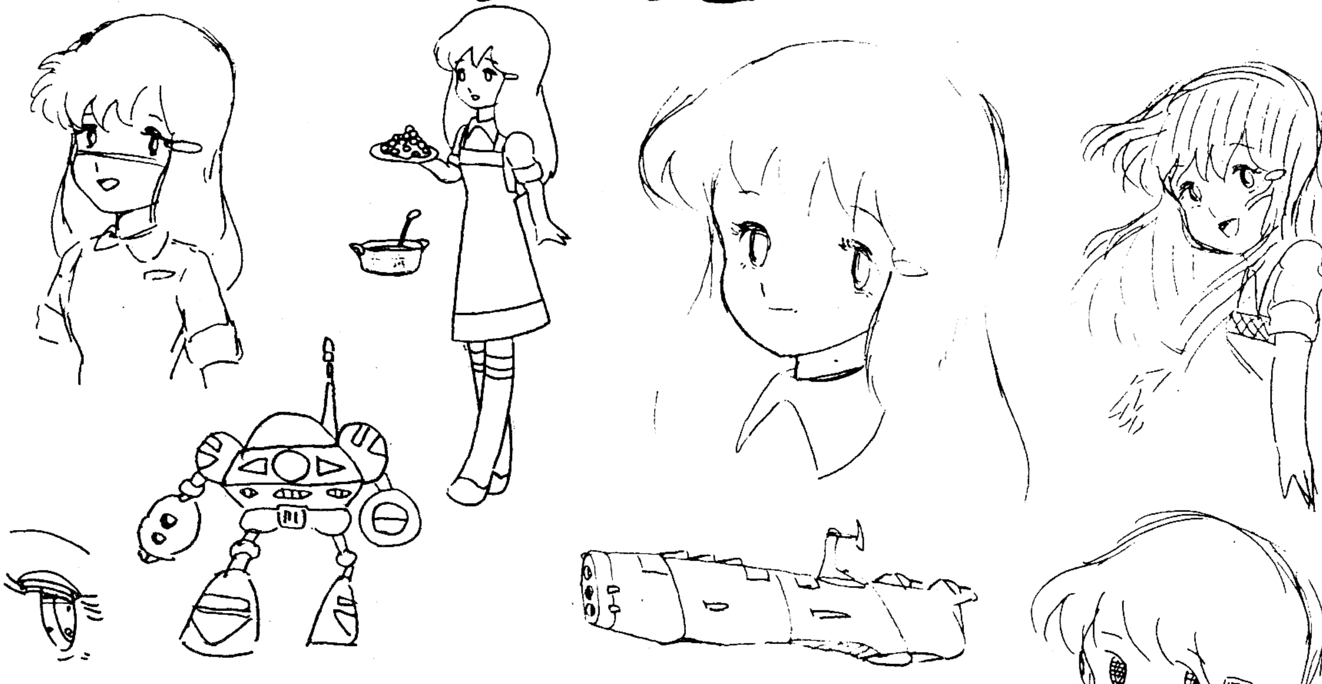



三月十八日
とうとうまともな絵の撮影ができるようになった。フレームテストをかねた試験撮影ではあるがとにかく複数のセルを撮った。女の子が座わっているところや宇宙船を撮った。
この頃よく人民食堂へ行った。量が異様に多いので有名な店である。そこの巨大定食！二人分に上西さんと住吉くんが挑戦して敗れたのはいつのことか……。あの２人にも限界はあったのだ。
作業絶好調——というにはあまりにきびしい地獄の日々であった。しかし人間やればできるもので、それまでGペンとかのたぐいには触れたこともなかった角張・住吉の二人組がそれなりにトレスをこなし、かなりの速さで彩色を仕上げるようになっていた。特に角張くんのみごとな彩色技術はのちのちの語り草となるのであった。
三月二十六日
始めての試写会である。ともあれ写っていたのでほっとした。女の子がどんなふうに動いたかはきっと上西さんがくわしく書いていることと思う。撮影のときとったメモとこのときとったメモは後で大変役に立った。
四月一日
パナック工業で今度はセルを三百枚購入する。さらに300Wリフレクタランプ及び本番用のアフレコフィルムを買った。
三月末から四月の始めにかけて仕事は快調とはいいたくないがとにかく進んだ。
——この頃一番の問題は背景だった。いろいろな暗い出来事のあげく、この時点では一枚の背景もできてはいなかったいまさら上西さんにやってもらうわけにもいかないし角張くん住吉くんに描かせるのは不可能であった。
四月六日
長い長い春休みが終わってしまった。アニメーションに明け暮れた日々はぼくらの身心に深い影響を残した。特に角張くんには怖るべき後遺症が残ったのだがそれはまだ先のことである。
この時アニメーションは1/4程度の作業が終ったと推定された（除背景）。
帰省していたSF同好会の会員もしだいに部室に姿を見せるようになってきた。
そして中にはアニメの作業を手伝ってくれる人も現われてきた。佐藤さんが背景を描くことになり、松田くんや野村くんも彩色その他でかなりの量をこなしたとりあえず人手も増え作業は4月中に終るかに見えた。未来は明るかった。
だがしかし、それが落し穴だった
アニメーションはぼくらが思ったほど甘くはなかった。奴はすさまじいカウンターパンチをくりだしてきた。





アイちゃんと宇宙ネコ





欲を出したのがいけなかったのだ。三月中はとにかく完成すればいいんだと死にもの狂いでがんばったからあれだけ仕事が進んだのである。ところが少し余裕ができたとたん「いい作品を作るんだ」という悪魔のごとき考えがわきでてきた。

仕事のペースはガクリと落ちた。

そしてなにより決定的だったのは授業の開始だった。信じない人もいるがぼくらでも授業は気になるのだ。少なくとも深夜作業はできなくなった。作業は泥沼に陥った・順調なのは作画だけ。

とはいうものの、さらにセル三百枚を購入し総枚数は八百枚に迫る。

五月十一日

ようやく本番撮りが始まった。五月二十一日まで六回にわけて第一シーンと第二シーンをほぼ撮り終えることができた。ゴールデンウィークまでは一応連日連夜行っていた作業もこの頃からずっと回数が減る。

合計六百ワットのリフレクタランプはストーブのようだった。BGMパンコパ

六月二日

フィルムNo.1の試写。動いている、動いている、動いている。多少の失敗あったもののかまうものか!

このころになってようやく「アイちゃんと宇宙ネコ」というタイトルが決った。

六月九日

フィルムNo.2・第3シーン撮影開始。

六月十一日

暑さのあまりミスが続出する。パンダコパンダのエンドレステープももはや私の精神の助けにはならない。結局この日は失敗ばかりで何ひとつものにならなかった。

六月十八日

撮影続行

六月二十一日

フィルムNo.2を現像に出す。

六月二十四日

フィルムNo.3撮影開始

六月二十五日

フィルムNo.2試写

ーこの頃残る仕事はほとんど撮影のみとなった。住吉くんがひたすらシャッターボタンを押し続けているのだった。

ーで、この結末のあたりでまた少し問題が起きたものの全てはパンダコパンダの旋律のかなたに消えていった。〽パンダパパンダコパンダ、パンダパパンダコパンダ、パンダパパンダコパンダン……。

七月二十七日

わぁ、とりあえずアニメの撮影が全部終った。はぁ……。あのときの虚脱感、解放感は頭が忘れても体が忘れない。ぼくはもうシャッターを切らなくていいんだぁー。

八月七日

OBの増子さんをお呼びしてラッシュフィルムの上映会を行う。

ーここまでくると正直言って惰性だった。仕事は一段落したもののまだ編集、音入れが残っている。それにまだタイトルを作っていない。

ーそしてアニメ制作は長い眠りに入る。



十一月六日
ゆうべアニメの編集が終ったぞ。ぼくはもうしらん。
SF同好会の人達に編集したフィルムを見せる。時間を計るとなんと五分四十秒もの長さがあった。感動である。まさかこれほどの長さになるとは……。しかしつなぐまで長さがわからんというのはどういうことだ。
あとはBGMを入れるだけだ。セリフなんかないんだい。もう終りが近い・ーけれど結局なにもしないうちに茨苑祭の前夜になってしまった。
十一月十一日
深夜三時頃ついにBGMの録音が終る。「エースをねらえ!」と「赤毛のアン」のBGM集から選曲した。ほとんどその場で曲を決めるというぶっつけ本番のわりにはうまくいった。徹夜続きで半分眠りながらやったとは思えん。
そして茨苑会館・弟四集会室において「アイちゃんと宇宙ネコ」は一般公開されたのだった。
SF同好会以外の人にも見てもらえたし、拍手の音も確かに聞こんだ。これだけでもういいや。
教訓ー自主制作アニメで金をもうけるのはムズカシイ。
一九八三年
二月二十二日
SF同好会の部室に響くのは「パンダコパンダ」でなく「オンリー・ユー」のメロディ。
まだタイトル撮ってません。
五月六日
タイトル編集
全作業終了

(住)

アイちゃんと宇宙ネコ

自主製作アニメ
アイちゃんと宇宙ネコ
パイロットフィルム

ランナー・ノート

アニメの作り方教えます

Written by あおみどろ

□更年期の始まり

ぼくなんかもうアホのうえに軽いもんだからやたら短絡的に書いてしまうのであった。へらへら

先日テレビで「激走5000キロ」とかいう映画をやっておりまして、これが面白いのでありますです。ニューヨークからカリフォルニアまでをぶっとばすというガンボール（キャノンボール）のお話で、いろいろな連中が参加していてまともないスポーツカーもあればクラシックカーやライトバンやバイクまで登場するのだ。パトカーそっくりの車や、コンピューター付の車も出てくる。

でこれを運転している連中も変なのが多いわけで、単調な走りを極端に嫌う悪ガキとメカのプロのコンビ「やっほー」「やめてくれえ」片輪走行しているのである。で、ひっくりかえる。

バイクの痛快なおっさんはギャグメーカーで、やたらと何かにつっこむのでる。当然彼等をつかまえようとする警察も出てくる。ルパン三世やコンボイに出てくるようなドジ刑事である。

いちばん気にいっているのが、イタリアの色男。まるっきり「陽あたり良好」の美樹本伸である。（彼の必殺水鉄砲はすごい！）彼とラストでゴールを競うのが前回の優勝者で、色男にぬかれた時の彼のセリフ「まだ秘密作戦が残っている」なんのことはない、道路のそばに女の子を立たせておくというもの。（これが効くところがすごい）これで優勝は決まりかというところで、ゴールの前に農協らしき観光団がゾロゾロ。

さてレースは、そして警察は……という久しぶりの「当り！」であった。一等賞とはいかなくても二等賞はいっているのだ。ラストもバッチリきめてくれたし。

これを作ったのが、元スタントマンの監督で、おそらく彼にとって一世一代の大仕事であったろう。しかも予算も少なければ製作時間も限られている。制約の多い中で、自分のベストをつくす人ってのはほんとにすごいと思ってしまうのであります。

□終りある戦い

あんましアニメの作り方とは違う話になってしまったけれども、そこで、何かをつくる場合、いつまでかかろうとも作ればいい、というやり方（正統派）と期限や制約つきのもの（学園祭までとか）と

前者はアマチュアとしてあたりまえの考え方でありましょう。しかし、アニメを作ろうとするとき、これが最良の策かといいますと、そー！でないような気がするわけです。言うはやすし、行うはきよし、いやかたし、というわけです。

文化祭やコンテストなどに向けて何かを作ったことのある人にはわかってもらえるでしょう。あのときのパワーや混乱そして発表の時のわくわくどきどきであります。

短期決戦て、好きなんです。

□ひと使い座ホットライン

「レーザーディスクか、すげえな」

オレはHOTLINEでコーヒーを飲んでいる。さっき、4年生のあおみどろ氏が出ていったところだ。

「アニメなんて出来るわけないでしょう」

「淡大だぜここはよ。なんて思うのよね。」

「しかしね、あんたもアニメ研残党だろ」

彼の言っていることもわかるのだ。だけど、ね、2人じゃできないのよ。「で、絵はおたくが描くの？」「うん」これで4年なのだ。「動画だけじゃだめですかね。そいつさ撮影して……」「やだよ、セルアニメだい！」「でもね、トレスとか彩色とか……」「ほれあのかねかりとかいう連中いたでしょ。使えるんでないの」「あの連中だってアニメ作ったことないですよ」「ぼくもだよ」「あ、あのね……」「音無君、がんばろーね。君ならできる」

はめられたんだよね。

□サクラカラー・タイムマシン

アニメのような集団作業において障害となることに2つほどあると思うのであります。

ちんたらちんたら作ることと受けをねらわないものを作ることです。両方とも正統派からみれば「なんじゃい」という意見でしょうし、ぼくもこれを認めたくはありませんが、根が軽いものですから言ってしまうのであった。

ちんたらちんたら、とは、いつまでも企画会議だなんだと、話し合いを続けないということも含んでるのです。やるなら徹夜一回で終わらせるべきですね。

□人民食堂の夜

「ほんとに全部たべたらおごってくれるんでしょうね」「うんうん」

あたりまえだ。」人民食堂の定食2つも食えるかよ。

彼、吉住君と角刈君がかねかりから加わった。でもね、根性でアニメ作れるのかいね。生セル見たことあるやついないんだもんね。おい、いかん！キャベツとおしんこだけになってしまった。

企画会議っつっても、あのストーリーはボツぜよ。あおみどろ氏は2時間もの作るつもりでいるし。ストーリーはあとやるっきゃないね。くっくっく、やったね！ほんとかよ。

吉住君は口を両手でおさえ外へとび出していった。え、やばいんでないの、おれ金ないよ

□時休定刻

一週間に一度集まって作る、とかいうのはダメだというのはわかってもらえると思うのですよね。でも、あんがい気がつかないというより、意識の外にあるとでもいうのが、日常生活とかいうものを犠牲にするということ。

犠牲というのは聞こえは悪いかもしれませんが、文化祭前なんかはそーゆーのを経験した人もいるのではありませんか。

とにかくパワーあるのみ。情熱とかなんとかはどーでもいいけれど、作るというそのことを楽しむというか、自分の生活に組み入れてしまうことなのです。（完成したとき、再びもとの生活に戻ったときの異和感はすごい）ですから作業の中にはコンパもあればカップラーメンもあるのです。

タコベヤなんか恐くない。

□我流目覚める

「春やすみ、つぶれそうね」

「うん」

響子が遊びに来ているのだ。SF同好会の部室にはすでに夕日がさしこんでいた。

吉住君が2つ穴タップを作っている。これが完成すれば歯車が回り出すんだよね。

「あのね」吉住君が顔をあげて言った。

「あおみどろ氏が言ってたんだけど、歩くところは描けんそーですよ」

「へっ」

「技術が追いつかんそうですぜ」

アイちゃんは歩けないのか……「響子ちゃん、お茶飲も、お茶」

□不満プラス

とまあ、そういうわけで、かったるいのは困るんです。作品論か何か知らないけれど、一人でもストッパーがいるとやってられないわけです。（良い子のみなさんはまねしちゃだめですよ）

ですから、完成に向けてつき進みたいなら、企画なんか適当に決めてもあんまし文句の出ないスタッフを集めるか、最初にバシッとしたセンスのいい企画を出しておくかしなければなりません。

□原画大変

ネコが盗み食いをする。女の子が怒ってネコをやっつける。実は女の子はスーパーガールの一人だったのだ。

だいじょうぶかよ。こんなんでよ。おまい。

「あおみどろ氏、大丈夫なんでしょうね

「動画の方」

「はっはっは。私には出崎統がついておる」

「でも、一〇〇枚二〇〇枚とは違うんですよ」

「しんぱいせんでいいよ、音無君。五代君が手伝ってくれるそうだしね。まかしときたまい」

HOTLINEの外は雨である。

□セルの中心で愛さ叫んだけもの

いい企画を作ることが、自分たちのブ

アイちゃんと宇宙ネコ

レーンでは無理とわかってるなら、受けをねらいましょ。過激かもしれませんが、原作でもない限り、中途半端な企画はない方がましなのですよ。

では、何で受けをねらわねばならないかといいますと、初めてアニメを作るからです。これしかない。

□深川のアタリメ

「あのね……」

オレはやっとのことできり出した。あおみどろ氏はハシを止めた。この人は深川ではドジョウのカラ揚げとヤキトリを食うことにしているらしい。白菜は食傷気味らしいな。

「背景がね、落ちそうなんですよ」

「ふうん」

「ふうん、て、まずいですよ、これ」

オレ、グイとビールを流し込む。

「むりに頼むわけにゃいかんでしょ、おたく」

「そ……」

それはないでしょ。オレもむりに引きこまれたんですぜ。

「こんちは」

吉住君が姿を見せた。

「角刈君は？」

「は、トレスのやり方研究しとりますわ」

「セル一枚25円だって」

とぼく。

「問題はトレスと色ぬりですわな」

吉住君の顔がくもる。と

「音無君」

「なんですか、あおみどろ氏」

「ここだけの話じゃが、このアニメ、出来りゃいいんでしょ」

「そーですよ」

「いやいや、そうじゃなくて……」

つまり、他人の動画は修正したくないってことらしい。

「作監ナシ。笑ってゆるして、じゃだめかしらん」

「しかし、それじゃ……」

ま、いいか、とオレ思う。ごった煮だって酒のさかなになるわな。

「わくわく、どきどき」

おお、飲んべえの松戸君だ。

「お鉄子追加して下さーい」

「どもども、㋮印は信頼のブランドでーす」

□ファーストジレンマ

試行錯誤しながら一生懸命アニメを作るわけです。上映会をやるときはみんなドキドキしています。お客様の拍手はたいへん嬉しいわけです。作ってよかったと思うわけです。完成したときの喜びも大きいと思いますが、やはり上映会です。みんな、シーンとしていたらかなしいです。

そこで、受けです。

□白紙の中の……

「くしゅん、くしゅん」

別に響子がかぜひいたわけではないのだ。

座っているアイちゃんがよろける、というシーンだ。これだけではくしゃみにしか見えないのよね。

「意外とまともに動くわな」

あおみどろ氏はしきりに感心している。

でも、困るんだよね、10枚くらい描いただけで喜んでもらってもさ。

□バケツ一杯の受け

なにも難しいことを言っているのではありません。普通の映画を作るのではないのです。自主映画でよく見かけるのは、かったるい演出やしょーもない主張です。アマチュアですからそういうのを作ってもなんら問題ではありませんが、しかし、あくびされると悲しいですよ。さいわい、アニメの場合動きがむしろ速くなり、シーンとシーンの間が短くなりますから見てる人はたいくつしません。ところが、ガンダムみたいな長ったらしいセリフをアマチュアがやったりなんかすると、あんまし受けないのです。これが。セリフというのはセンスがよくないといけませんから、見てる方はつまんないわけです。

そういうわけで、動きをメインにしたアニメってのは受けると思います。しかし、ストーリーものは難しいですよ。まず、動画が死にます。基本動作が多いですから。で、動画が少ないと、いわゆるセルしばいになってしまいます。セルしばいは簡単につくれます。しかし、あまり受けません。作ってる人が紙しばいを意識していないからです。紙しばいでもいいものは、たいくつしません。しかしアニメといいつつ、セルしばいになった作品というのはストーリーやセ

…つがあまり良くありませんから、たいくつします。（ここで言っているのは一般論なんですが）なぜかといいますと、おそらく作っている人は、テレビアニメのストーリーのようなものを作ってみようと思っているからではないでしょうか。（マンガにもよく見られますね）はっきりいってしまえば、テレビアニメは下らないものなのではないでしょうか。

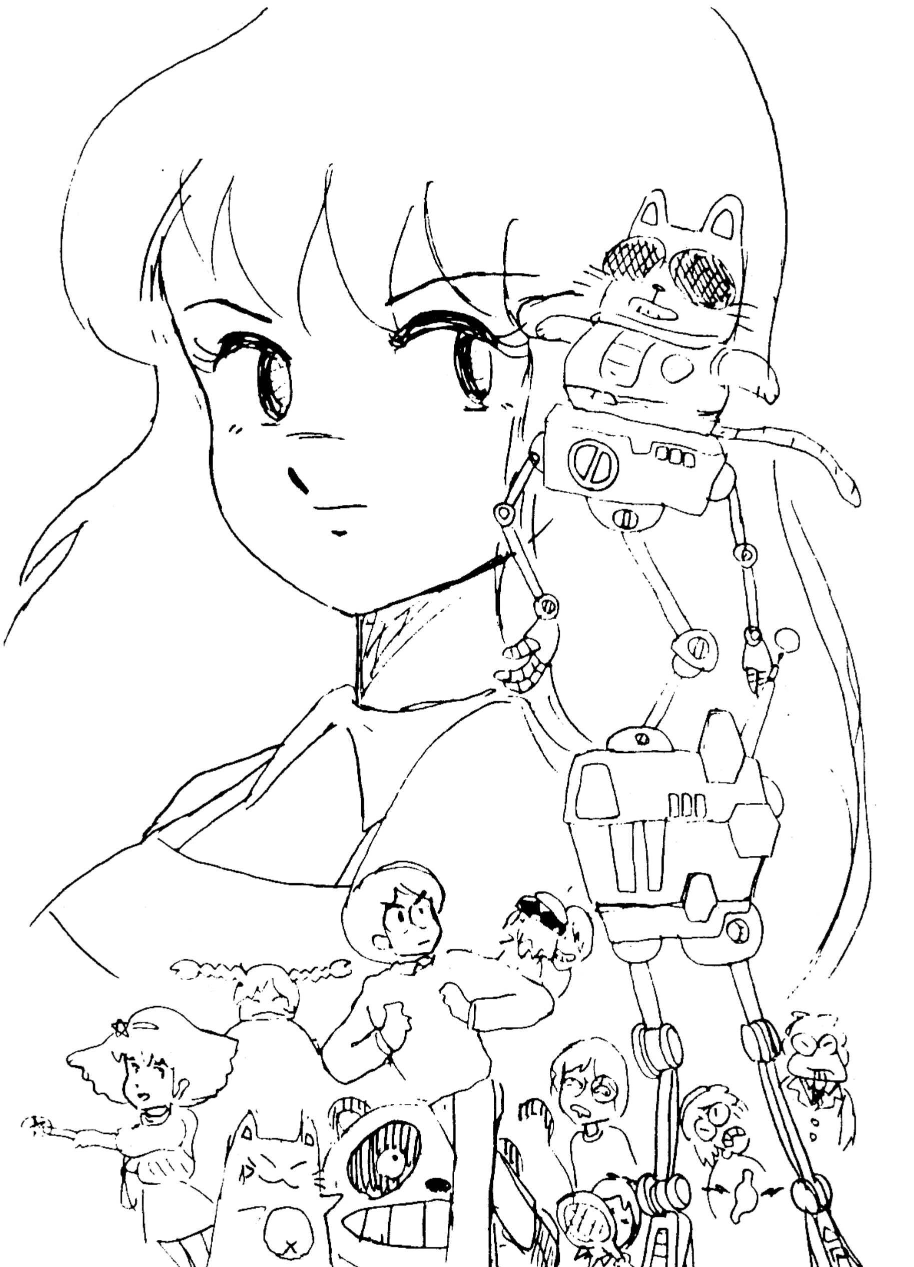
あれほど下らんものがなぜ受けるのか。多分、そこが脚本家やアニメーターがプロであるゆえんなのでしょう。アマチュアがこれをやってはいけません。あまりのつまらなさにスタッフが空中分解します。気に障ったらごめんなさい。これ、でも、言ってみたかったのよね、これ。

口春来たりなば

「もーいーくつねーるーとー……」
「茶化すの止めよーね、響子くん」

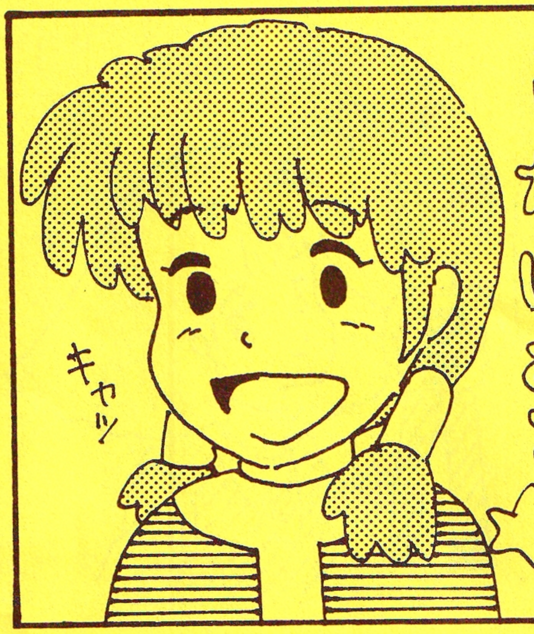
といいつつ、オレには少々よゆうというものが生まれて来つつあったのね。やたらいちゃもんの多いあおみどろ氏の他に、五代君と野原君が作画で加わってくれたし、背影もかねかりのお絵かき姉さんがやってくれそうだし、吉住君はもくもくと雑用をやってるし、玉砕の角刈君と松司君は根性のトレスをやってる。なんとかなるんじゃないすか、なんて思ってみたりする。

「でも、出来そーね」



「もーいーくつねーるーとー……」
「がんばッ！」
「へいへい……」

らぽおと



初めまして、私は某女子校に通っている高校2年生です。愛読書は「病室だより」という、身も心も健全な16才の少女（？）……。このたびは、かねかりの「病室だより」について質問させていただくべく、おたよりしました。

質問その1　vol.1.4は出たのでしょうか？　雨ニモ負ケズ、人目ニモ耐え、毎日毎日、プラモ屋さんのガリバーに通っているのですが……。

質問その2　印刷はコピーですか？　PROJECT・CLARICE……とは？（実は私、あるアニメのFCの会長をやっとりまして……オフセットだと金はかかるし、コピーを、両面印刷してくれるところはないし……、困っているのです。どこか安いところはないでしょうか）

質問その3　生協書籍部とは何処で、どういう所なのですか？andガリバー等の店に、会誌を置いてもらうには、どうするのでしょう？（……直接いくんでしょうねぇ……そりゃあ）で、置いてもらって、お金は何割か取られるのですか？

以上、お返事下さい。

P・S……大塚康生ばんざい！巨人ばんざい！東京ムービー新社ばんざい！紙琉柁くんばんざい！

P・S・S……川原由美子さんの特集をしてほしいんですが……。

ただいま9月5日PM10：30……暗い……、超人ロックがアニメ化だなんて……、う……コブラの声が那智だなんて……ひどい……

（水戸市石川・篠原千津子）

○えっと、篠原さんにはお手紙が行っていることと思いますがとりあえずまた、解答いたします。

①vol.1.4は「モコモコ」と名を変えて去年の11月に発行されました。篠原さんは茨苑祭で買ってくださいましたね、ありがとうございます。

②「モコモコ」等のコピーは茨大学内の少々特殊な所で行っており、別にプロクうな印刷所があるわけではありません。一般の人が利用できるコピーでしたら茨大前セイブの2階にあるコピー屋さんがB4…15円、縮小…25円です。茨大生協（学外者もまあ利用できる）でしたらA3、B4共に20円で縮小も20円です。オフセットなどの一般印刷でしたら、常磐プリントをおすすめします。水戸で一番安く、親切な印刷屋さんです。住所は奥付を見て下さい。

③生協書籍部というのはつまり茨大生活協同組合の福利センター内にある本屋さんです。高校でいったら購売部みたいなもんだと思って下さい。

本屋さん等に会誌を置いてもらうにはつまりその直接いってください。お金は店によって違いますが一割〜二割ぐらい取られます。

おわかりねがえましたか？

●愛読書が「病だ」なら、たしかに健全(す)と言えるでしょう。私のまわりにいる女子校出身の女の子さん達の愛読書は〇〇や××で、ひとりとしてマトモな人はいません。（ふ）

はじめまして。私は某女子高にかよっているものです。「病室だより」は2号から買いはじめました。おもしろかったのでこれからも買おうと思い、ガリバーに足をはこび続けてはや8ケ月とちょっと。まだ4号はでませんか。それとも3号でおしまいですか。わっおもしろい！宮崎、大塚キャラがいっぱい！くらりす♡らな♡ひるだ♡（女の子がこういうことというと白い眼でみられますが、私は好きだ。同性だってかわいいものはかわいい）と発売日がまちどおしかった。まさか廃刊じゃありませんよね。茨城にもわかってくれてる人がいると手をたたいて喜んでたのに、それはないでしょう。なんとかがんばって復刊して下さい。待ってます。

（保健室で）

○怖しいことに「モコモコ」と名を変えて復刊してしまいました。しかし、内容がねぇ……。(す)

●ふぅ〜ん、白い眼でみるのは同性ですか異性ですか？まったく関係ないけどモモの眼は緑色です。（ふ）

3号のかある氏へ

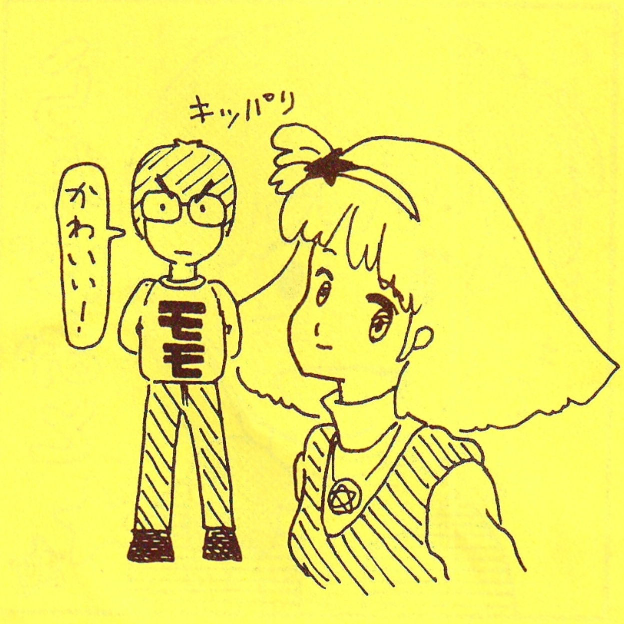
ウナが精神的な面で11才の女の子には見えないという文章がありましたが、ウナは両親を失いおじ夫婦に育ててもらったという設定なので、すでに精神的自立をした女の子であってもなんら不思議はないと思うのですが、いかがなんでしょうか。

（一読者より）

。つまり、かある氏にウナが自立していない女の子であって欲しいという願望があるのと違いますか？

•モモは地球に夢を呼び戻すためにフェナリナーサから来たという設定なので、すでに精神的自立をした女の子であってもなんら不思議は……。(す)

（ふ）



前略、初めておたよりします。これが今ちまたで噂の『モコモコ』4号なんですね。今回はおとなしいですね、残念です。ぼくはもっとビョーキが好きです。誌名も『病室だより』のほーが好きです。愛読者の皆さん。ぼくらは今こそ、誌名『病室だより』復活運動を起こそうではないですか。

筆が尽きました。それでは5号を、いっそう健全な病気となることを期待しつつ。

敬具

（水戸市渡里町・濵）

。あなた「病室だより」という名前の本を川又書店に持っていけますか？(す)

•おたよりとは完璧に関係ないけれど、ああ、でも関係ないこと書くの悪いからやめときます。

（ふ）

前略モコモコ編集部様

モコモコ4号見ました。「病だ」と較べてライト感覚ッポイ雑誌になってしまいましたね。

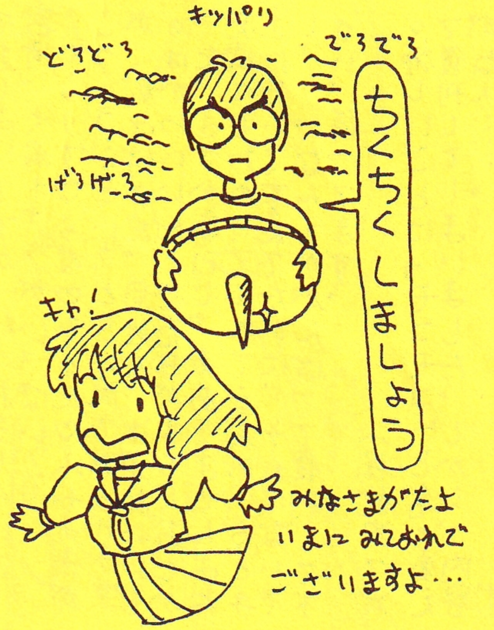
ところでぼくは中学校の頃、隣の席の女の子の腕にとがったシャープペンでついたら、おこられました。ただ無条件反射の実験をやりたかっただけなのに……。いまは反射の実験はやりたくないのですが、とがった鉛筆を持っていると、前の席の人の首筋を、それが男の子でも女の子でも、つついて、首に鉛筆をつきさしたくなります。病気でしょうか。

（水戸市新原・三木桃夫）

。私の友人には意味もなく人の頭をはたく男がおります。(す)

•どうでもいいけど、私のモモちゃんをツンツンするのだけはやめて下さい・チクチクするならミンメイか誰かに。

（ふ）



今何故モコモコか
——私的モコモコ論（草案Ⅰ）

水戸はSF不毛の地と呼ばれる。何故不毛か？諸説ふんぷんあるが、その代表的なものは、水戸市民に限らず、茨城県民に見られる保守性、閉鎖性であるといえるだろう。何故保守的であることがSF不毛の原因と成り得るか。これはあえて論じなくとも賢明なる諸君なら解るであろうから省かせて頂く。

さて、この閉鎖的な社会こそがモコモコを生み出したといえるかもしれない。モコモコは閉鎖的な茨城人の体質の中で唯一見られる若者の反発かもしれない。しかしその性格は決して保守的な人々の反発を買うことはないだろう。モコモコは、この点に於いては成功したと言えるだろう。

さて本論に入ろう。我々がモコモコを

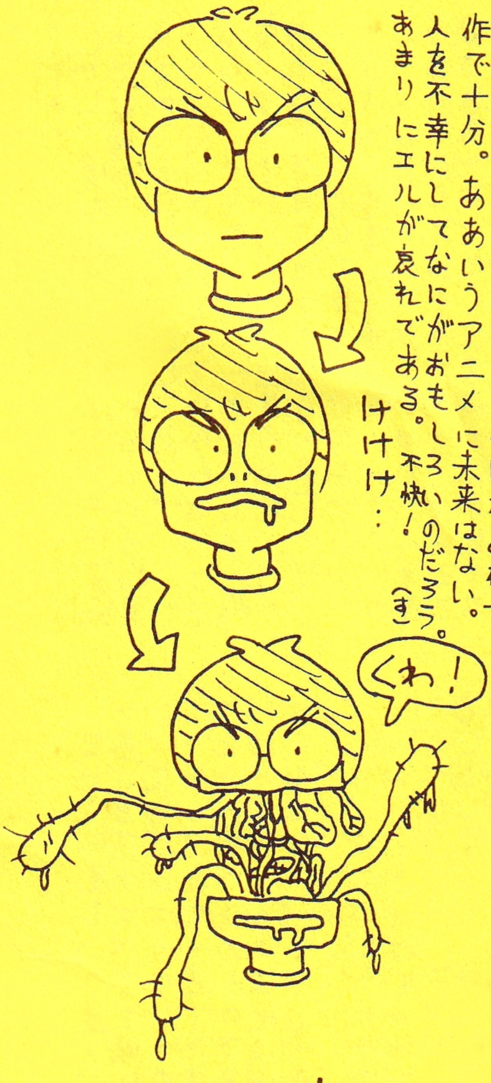
読む上で大切なのは、その基礎性である。我々がこの様な類の雑誌に求めるべきことは何があろうか。
　それは知ることではない。知ろうとする糸口を得るためである。知らなければ恐れるだけだが、知ってしまえば怒りも生じよう。この様な例は、我々が生きていく上でよく見られる。イラストによる視覚化は大切である。しかしイラストにある欠点は必要以上の情報を（おうおうにしてそれは間違っていることがある）我々に与えることであろう。ラナやクラリス、モモ等のヌードを掲載した雑誌があることは諸君も知っていよう。そのことについては私は別に悪いとは思っていない。
　しかしその様な視覚化されたイメージというものはあまりにも激しく我々にそのイメージを焼きつけるのである。その様な現在の傾向に怒りを感じる諸君もいるだろうから私の言いたいことはわかって頂けると思う。
　モコモコはその様な雑誌に比べてイラストが少ない。それらは決して投稿者に絵が描けないのでなく、彼らはモコモコを、あるポリシーを持った雑誌として製作しているものと私は思う。
　それでは、そのポリシーとは何か？
　それは、モコモコはずばりSFの入門書ではないかと私は推測している。モコモコ4号「特集・これがゼネプロだ」はその最たるものであろう。
　さて、話を元に戻すが、私の言いたいことは何故今モコモコなのかということだ。我々にとって（マニアやビョーキでないという意味で理解して頂きたい）現在大切なのは糸口をつかむことである。一を聞いて十を解するというのは難しい。しかし、現在あるこの類の雑誌は一を知って無理やり彼らに十を知らしめる性質のものであるということである。
　モコモコの雑誌としての存在はそうではない。一を知って、一を知らしめる性質であるということが出来るのだ。残りの九は自分自らの手で知るべきなのだ。
　ここで具体的な例をあげてみよう。
　立方体を想象して頂きたい。そう、さいころの様なものである。さいころを面は角度を変えてみてただ面としてみると傾きの差によって、立方体や直方体や六角形になる。
　先程述べたように、現在のこの様な雑誌の多くは一を知って十を知らしめるというものが多い。
　つまり、この様な雑誌が我々に正方形を平面に見せるのだ。しかも、雑誌が違うことで――すなわち編集者や投稿者の差で、その平面は正方形になったり、長方形、六角形に成型されているのだ。初心者である我々はその様な×××××（六文字判読不能――編集註）がまだ発達していないだろう。その様な我々にとって、その様な雑誌はいわば盲人が象の体に触れてその全身を想像する様なものなのだ。
　もちろん、3次元として、複数の2次元で表わせないことはない。それならば複数を知れば全てがわかるだろうか。否である。正方形と長方形はかろうじて受け入れられるかもしれない。しかしそれらと六角形は受入れ難いだろう。図形を価値感と例えて×（判読不能――編集註）いて囲れない。その様な雑誌は3次元の様々な性質を2次元で拘束している。そこからは共通点を見つけ出すことは難しい。
　だから何度もいう通り、我々はこれらの差し出す十すべてを吸収してはいけない。大切なのは一だけを吸収することなのである。先程も言った通り、残りの九は自らの手で決めるのである。我々は、いや少なくとも私は他人に鋳型をはめられたくはない。しかし、それは難しいだろう。
　もし、我々が自らの手で十を解り得たとしよう。それはもちろん偏る。しかしそれは偏ってしかるべきなのである。偏ることは悪いことではない。大切なのは偏らせてもらうことではなく偏ることである。我々は、少くとも私は十を教わることで染まりたくない。十を知って融合したいのである。少くともそうすべきだろう。
　この点に於て私はモコモコを推す。モコモコは我々に、今我々に必要な一だけを与えてくれるのである。しかしモコモコには先程あげた性質がないか？　私はそうは言わない。しかしモコモコは一を知らしめてせいぜい五か六かしか与えない。固まってしまった鉄と固まりかけた鉄とはどちらが成形しやすいだろうか。つまり比較的、モコモコは我々を偏らせるだろう。つまり、自分自身で選ぶことがたやすいのだ。
　モコモコを読んでいる我々は幸福であろう。我々は自ら偏れるのである。これは先駆者以外には現在ではまずできることなのである。
　モコモコは我々の手を引いて何処かへ連れてはいかない。××××（四文字判読不能――編集註）させてくれるだけである。
　モコモコから入った我々がやがてマニアとなりビョーキになったとしよう。そ

れならば我々にはもうモコモコはいらないか。この答も否である。釣りの格言にこんなものがある。
「釣りは鮒に始まって鮒に終わる」
このように、マニアなりビョーキなりに（それは決して悪ではない。一億総ビョーキとなった今、誰にも我々を非難できる資格はない）なったなら改めてモコモコを見ていただきたい。偏ってしまった君の目からはモコモコは新鮮なものとして映るだろうし、その感動が君きいっそうビョーキの世界に引きずり込むだろう。

（水戸市文京・内野天司）

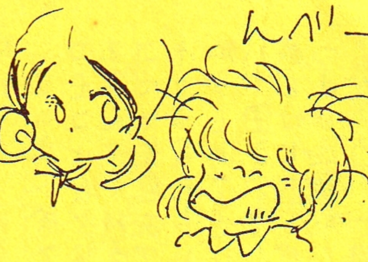
●今となっては、〃ビョーキは普通〃だし、〃健全も偏見〃だし〃ビョーキ愛好者はマニア受けしない〃し、うーん私は何を書いているんだろう。とにかく初めての本格的なモコモコ論です。大作をどうもありがとうございました。本当に御苦労様です、……でも何ヵ所かテクニカルタームが「原語」で書いてあるようで読めな……とにかく御苦労さま。（ぬふ）

。これほどまでに「モコモコ」を深読みしていただき、作ってる人間としては感動のきわみです。
雑誌を「読む側」から「作る側」に移って実感したことは、なにより「読者からの手紙ほどうれしいものはない」ということです。内野さんの長い長い手紙は才5号を作るとき大きなはげみになりました。とにかくページが一ページうまりました。
残念なのは一部あまりにも難解なため理解することはおろか字さん読めなかったことです。続きを期待しています。（す）



追信ー押井守のやることは理解できん。「オンリー」はま、おもしろいがあれ一作で十分。ああいうアニメに未来はない。人を不幸にしてなにがおもしろいのだろう。あまりにエルが哀れである。不愉！（す）
けけけ：

ふぁかものめがーっ!!
ララPa特集するんなら、
ちゃんとせんかーっ!!
テ3ロ 下エ田J わたしのララアをわたしのララアを〜っ
う、う、う、
うみのやめにっ とりかえしのつかない事を〜っっ
にゃんっ ばかっ死ねばいいのよっ
あんたなんて大キライ大キライ大キライだわっ これであんたが気を悪くしたってかまわしないわっ
その方がうれしいわっ
んべーっ〜



PS.
ララアは金かければかけるだけ美しなるのですよっ
Aiさんにかいてもろーたララアネフは楽しかったなー

おお平身低頭、あやまるっきゃない。わらってわらって、はい、わらってわらって、ははははは。しかし今度はアクロスおちょくっちまったもんなあ。まともに描けもせんのにララアにつづいてミンメイ描いちまったもんなあ、やばいなあ、パクリだもんなぁあれ。モモも描いたもんなあ、オバQでやめておけばいいのにしのぶまで描いたもんなあ。ははは（Q）

お手紙待ってます！
編集部一同

もータイムリーなものなんかやらんもんね。わしハジかいちったもんね。で、監督インタビューのところのロリコンファンうんぬんの所は平野さんゴメンなさい。知らんかったんですもの。くくく。ストーリー紹介のところ見向きもされなかったらつらいなー。本気にされたらこわいなーー。書いたの一月だもんなーー。えーん、えーん。

しかし相米はきらいだもんな。ま、これがいーたくてやったよーなもんだから、ま、いーんでないかい。などとひらき直るところがこわいんだよなー。(ばかね)

アイネコやってからもー一年たってしまったのだあ。しみじみ。

しかし、そろそろアニメの"むし"がうごきはじめる頃なのであったが、つくるとすればおそらく、オバQ vs 東丈、とか新井素子オープニングアニメなんてしろものになりそーなのである。巨大のた魚型重巡がドドーっとやって来てうんたらかんたら、BGMはフラッシュゴードンなんかがいーな。田中くんのアニメは大大期待なのである。がんばってほしーものであるのだ。(Q)

もっともっとたくさんモモちゃんのことを書きたかったのです。ページの余裕はありました。時間もたっぷりありました。でも書きだすと、すぐにペンは止まってしまいます。書きたいことはたくさんあるのに素直に文字になってくれません。ぼくの心の中のモモちゃんをぼくだけのものにしておきたいと無意識に思っていたからでしょうか(そうです)。いいえ、ぼくにはどうやってぼくの大好きなモモちゃんを表現してよいかわからなかったのです。何度も何度も原稿を没にして、未だぼくにとってモモちゃんが何なのかつかみきれていません。ぼくにとってモモちゃんはまさしく魔法のプリンセス、不思議少女なのです。ぼくは(ポーッとしているとは云われますが)ロリコンでも二次元コンプレックスでもありません。しかし、幼くしてこの世を去ってしまったモモちゃんの愛らしさやりりしさを忘れられないのです。どうして、モモちゃん、どうして君は死んでしまったのですか?

——。(ふじ)

私は古賀研のゴンベになりたかった。あの茨大理学部をねぐらとするオスネコに……。昼も夜も理学部玄関のあたりにて寝そべり、化学科の人間にエサをもらう。「神は天にいまし世はすべて事もなし」というのはまさに彼のことであろう。けれど私はゴンベにはなれなかった。だから「モコモコ」が出来た。

残念なことに私は「マクロス」や「モモ」そして「うる星」のようなアニメはあまり好きではない。いつの日にか胸をはって「好きだ」と言えるアニメーションの本を作りたい。そう「赤毛のアン」のような。メジャー作品(?)はよそ様にまかせておけばよいのだ。「モコモコ」はやはり地道に行こう。というわけで次号は。(す)

予告ーモコモコ No.6 特別号

「長谷川真弓特集」

「太陽の子」を中心に

今号のマクロス特集は、実在の「超時空要塞マクロス」とは、一部を除き無関係です。不幸な誤解等ございましても、運が悪かったとおあきらめ下さい。



モコモコ No.5

発行　茨城大学アニメーション同好会 ーカネカリ
発行日　一九八三年　六月三十日
発行人　住吉信夫
編集人　上西健二
住吉信夫
斎藤勝彦
連絡先　〒310 水戸市渡里町2292
豊川荘201　住吉信夫
印刷所　株式会社 常磐プリント社
水戸市新荘3・3・36

